

# TRAINING CENTER ADMINISTRATIVE MANUAL

---

*STANDARDS AND GUIDELINES FOR QUALITY ASSURANCE*

*質の管理 (QA) のための規準とガイドライン*



注意：この TCAM の発行日現在、COVID-19 パンデミックに対応するための米国その他多くの国家緊急事態は終了しました。全国的な COVID-19 公衆衛生緊急事態により、特定のトレーニング・センター規準は一時的に、延長、一時停止、または免除されました。HSI によって公表された従前の COVID-19 アップデート事項は、もはやここに公表されるトレーニングセンター基準に取って代わり続けることはできません。私たちの職場と地域社会をより安全なものにするためにしてくださっていることすべてに感謝します。

Health & Safety Institute  
1450 Westec Drive  
Eugene, OR 97402

Copyright © 2023 Health & Safety & Institute All rights reserved.  
全ての権利を留保する。

日本語版制作  
MFA ジャパン k 部株式会社  
東京都小平市学園西町 2-13-33  
TEL 042-345-9970  
FAX. 042-345-8985  
www.mfa-japan.com

TCAM は全ての事項を包括的に対応する意図を持っていません。そうした理由から、規準やガイドラインに関するいかなる疑問や質問も QA 部へ問い合わせるべきです。また、この資料は法的なアドバイスでもなく、その代わりになるものでもありません。

日本版 TCAM は、日本における MFA のオペレーションに関わりのない項目や部分を省略してあります。

- 断り無く変更が生じることがあります -

# 目次

ブランドの変換 .....	iv
<b>Section 1: FAQ（よく聞かれる質問）と重要用語の定義 .....</b>	<b>1</b>
HSI (Health and Safety Institute) とは? .....	1
MFAJAPAN（日本） .....	1
TCAMとは? .....	1
誰のための TCAM か? .....	1
TCAM はなぜ必要か? .....	1
トレーニングセンター (TC) とは? .....	1
TC と TC ディレクターの関係は? .....	1
TC ディレクターの役割は? .....	1
QA (質の確保) とは何か? .....	1
規準とガイドラインの違いとは? .....	2
トレーニング・プログラムによって規準は違うのか? .....	2
HSI と TC の関係は? .....	2
HSI はフランチャイズか? .....	2
HSI は公認を受けているか? .....	2
HSI のトレーニング・プログラムはエビデンス・ベースか? .....	2
MFA トレーニング・プログラムは AHA や米国赤十字のそれと同等か? .....	3
MFA トレーニング・プログラムは広く承認・公認されているか? .....	3
認定カード発行には実技の対面評価が必要なのか? .....	3
オンラインだけの CPR やファーストエイドのトレーニングは OSHA の規準を満たしているか? .....	3
TCAM の改訂の頻度は? .....	3
さらに疑問・質問があるときは? .....	3
キーワードの定義 .....	4
<b>Section 2: トレーニングセンター (TC) 規準 .....</b>	<b>5</b>
TC 承認 (認可) の条件.....	5
HSI/MFA インストラクターあるいはトレーナーの認可の条件 .....	9
認可インストラクターあるいはトレーナーは以下を遵守しなくてはならない: .....	9
インストラクターあるいはトレーナーの再認可 (資格更新) のための条件 .....	10
認定の条件 .....	11
苦情と資格照会に関する条件 .....	13
プロセス .....	13
抗議・嘆願 (申し立て) .....	14
国際的なクオリティ・アシュアランス (QA) .....	15
<b>Section 3: トレーニング・プログラム規準.....</b>	<b>16</b>
G2020 HSI/MFA 成人のファーストエイド (成人の ECFA) .....	16
G2020 HSI/MFA 成人のファーストエイド   CPR AED (ベーシックプラス) .....	18
G2020 HSI/MFA 成人の CPR AED (ケアプラス - 成人).....	20
G2020 HSI/MFA 小児ファーストエイド   CPR AED (チャイルドケアプラス™) .....	21
G2020 HSI /MFA 小児の CPR AED (ケアプラス - 小児) .....	23
G2020 HSI/MFA 小児ファーストエイド (小児の ECFA) .....	24
G2020 HSI /MFA インストラクター養成コース (IDC) .....	26
G2020 HSI /MFA インストラクター・トレーナーコース (ITC) .....	27

## Section 4: トレーニングセンター（TC）ガイドライン .....29

熟練したインストラクターの属性・特質 .....	29
新規インストラクターあるいはトレーナー認定のガイドライン .....	29
インストラクターの認可方法 .....	29
IT の認可方法 .....	29
IDC または ITDC による認可 .....	30
互恵関係によるインストラクターの承認 .....	30
教員免許 .....	30
トレーニングセンター関連事項 .....	30
トレーニングセンター（TC）のビジネス用の名称 .....	30
コース時間の広告 .....	30
ウェブサイト・インフォメーション・システム .....	30
MEDIC First Aid インストラクション・システムの活用 .....	30
障害者差別禁止法 .....	31
日本の障害者関連法 .....	31
MFA 教材・資料の著作権 .....	31
クラスルーム関連事項 .....	32
柔軟性 .....	32
受講生ブック .....	32
筆記試験 .....	32
大人数での受講者：インストラクター人数比 .....	32
スキル・セッションの受講者：インストラクター最大人数比 .....	32
講習におけるシミュレーション用器材 .....	33
CPR フィードバック器材 .....	33
講習のスペース .....	33
同等コース .....	33
更新（リフレッシュ） .....	33
猶予期間 .....	33
補修 .....	33
参加証 .....	33
多様性について .....	34
受け入れ、承認、公認、認定 .....	36
トレーニング・プログラムの質の確保 .....	36
クラス評価アンケート .....	37
プロフェッショナル・メンバーシップ .....	37
質の確保（QA）委員会 .....	37
登録メンバーのステータス・データベース .....	37
免責事項 .....	38

## ブランドの変遷

HSI は、個々の救急医療トレーニングプログラム（American Safety and Health Institute (ASHI)、EMS Safety(EMSS)、MEDIC First Aid）を HSI という統一されたものに移行しているところです。その結果、このバージョンの TCAM には、個々のブランドに関連したトレーニング・プログラム規準（TPS）と、統一された HSI ブランドの下で発表された新しいトレーニングプログラム規準が含まれています。TPS は、講習を実施し、受講者を認定するための最低条件です。

HSI は、最新の科学と手当ての勧告に対応するため、トレーニング・プログラムを改訂し、発表し続けています。このバージョンの TCAM には、現在のガイドラインと以前のガイドラインの両方を反映した TPS が含まれています。以前のガイドラインを反映した TPS は、トレーニング・プログラムが改訂・発表されるたびに更新されます。

このブランド移行期間中、市場や規制当局などの間で混乱が生じるリスクに対処するため、HSI の認証カードには、ASHI、EMS Safety、MEDIC First Aid のロゴが、徐々に廃止されるまでの長期間、引き続き表示されます。



## Section 1: FAQ (良く聞かれる質問) と重要用語の定義

### Health and Safety Institute とは？

略称 HSI は、あらゆる規模の企業や団体にトレーニング、安全管理、コンプライアンス・ソリューションを提供しています。HSI のテクノロジーとコンテンツ・ソリューションの組み合わせは、安全、人事、業務のリーダーが従業員を訓練し、育成し、労働者の安全を守り、規制や業務上のコンプライアンス要件を満たすのに役立ちます。HSI の応急救護トレーニング・プログラムは、現在、米国内の何百もの職業や専門分野において、何千もの州規制機関、職業免許委員会、専門家団体、委員会、協議会の要件を満たすものとして受け入れられ、承認され、または認められています。

### MFA JAPAN (日本)

MFA JAPAN は、正式名 MFA ジャパン株式会社といい、HSI/MFAI 社とのライセンス契約の下で、日本で活動する MEDIC First Aid (以下、MFA) インストラクターを養成し、MFA プログラムを日本国内で普及することにより、日本の救急医療の発展に貢献することを目的に、1988 年に創設され、アメリカで開発されたプログラムが日本でも適用できるように見届けています。HSI の誕生により、MFA JAPAN も自動的に HSI の傘下に入りました。

### TCAM とは？

TCAM とは、HSI (日本では MFA JAPAN)、傘下の承認を受けた MFA トレーニングセンターや、認可 MFA インストラクター、認可 MFA インストラクタートレーナー (以下、IT という) の質の確保とパフォーマンスの向上のための尺度を確立するための規準とガイドラインを集めたものです。

### 誰のための TCAM か？

TCAM は、HSI 認定トレーニングセンター、HSI 応急救護トレーニング・プログラムを提供または指導する認可インストラクターおよび IT のためのものです。また、規制当局、職業免許委員会、国内および国際組織、専門家団体、教育認定機関、受講者など、HSI (日本では MFA JAPAN) の品質保証および改善活動に関心を持つすべての人のためのものです。

### TCAM はなぜ必要か？

TCAM は、HSI (日本では MFA JAPAN) が認可した MFA トレーニング・センターや、MFA インストラクター、MFA トレーナーの有効性、防衛性、HSI (MFA JAPAN) の効率の向上を図るために HSI が活用するプロセスと QA の基準を文書化しています。HSI が効果的な質の確保システムを活用しているという事実をデモンストレートできることが、往々にして当局の認可、認定、あるいは承認を得るために必要になります。また、HSI や MFA JAPAN、傘下のインストラクターやトレーナー諸氏の、運営基準や手順、プロセスなどの弱点を見つげられることで、法的な問題となるリスクを低下する上で役立ちます。同時に、健康と安全、そして質の確保 (以下、QA) において透明性が特に重要となります。こうした理由から、HSI の QA のための規準とガイドラインは HSI (日本では MFA JAPAN) のウェブサイト自由に閲覧できるものとなっています。

### トレーニングセンター (TC) とは？

HSI/MFA トレーニング・センターは、必要な知識を持ち、学習を指導する能力を持つ、認可された HSI/MFA インストラクターまたは IT によって提供される、応急救護トレーニングと認定を提供する自治組織で、さまざまな規模や事業形態があります。トレーニング・センターは、個人所有の中小企業で、日々の運営を行い、有償で指導を行う場合もあれば、大企業、組織、政府機関などで、社内のインストラクターや IT が従業員のためのトレーニングを行う場合もあります。

### TC と TC ディレクターの関係は？

認可されたトレーニング・センターにはトレーニングセンター・ディレクターを置かなくてはなりません。TC ディレクターとは、MFA 事業のオーナー、執行役員、あるいは TC のオペレーションの運営に責任を持つ組織に関連するその他の個人を指します。

### TC ディレクターの役割は？

TC ディレクターには、当該組織の MFA トレーニング業務が TC 規準に沿って実施されることを見届ける責任があります。

### QA (質の確保) とは何か？

QA は、HSI (日本では MFA JAPAN) 傘下の MFA トレーニング・センターや、MFA インストラクター、MFA トレーナーのパフォーマンスを観察し、改善を図るために設計された一連の規準で、提供される応急救護のトレーニングが、一貫して HSI/MFA、規制当局、クラス参加者の条件を満たすか、それを超えていることを見届けるためのものです。



## 規準とガイドラインの違いとは？

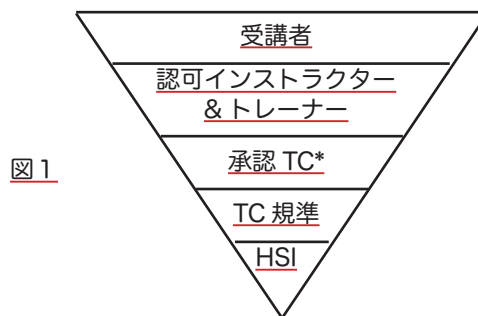
規準は、「量や重さ、範囲、価値、または質の尺度を示すためのルールとして、当局によって確立されたもの」です。ガイドラインは、「ポリシーや行うべきことを示すためのルール」<sup>1</sup>です。「QAの規準とガイドライン」という意味では、規準は認定を受けたTCや有資格インストラクターやトレーナーが実施しなくてはならないこと（義務）であり、ガイドラインは（非強制的）実施した方が望ましい、良い、あるいは最善の事柄を指します。

## トレーニング・プログラムによって規準は違うのか？

トレーニング・プログラム規準（TPS、セクション3）で定義されているHSI/MFAトレーニング・プログラムの様々なブランド間には、固有の違いがあります。それ以外の規準は、各トレーニング・プログラム・ブランドに等しく適用されます。HSI/MFAが単一ブランドに移行するにつれ、これらの違いは解決されることになります。

## HSIとTCの関係は？

HSIは、トレーニング・プログラムを設計し、開発し、TCの承認を行い、最新のTC規準に従って受講者の認定を行うインストラクターやトレーナーの認可を行います。（図1）



※外部（独立）トレーニングセンターは、対価を得てトレーニングを提供します。内部（企業内）トレーニングセンターは、対価を得ることなく、従業員やメンバーのためにトレーニングを提供します。トレーニングセンターのビジネス形態は、個人事業、パートナーシップ、企業、合同会社、NPO、行政機関などを含みます。

## HSIはフランチャイズか？

HSIはフランチャイズではありません。TCディレクターや認定を受けた有資格インストラクターとトレーナーはHSIの従業員でも、代理人でも、コンサルタントでも、業務委託先、あるいは法的な代理人でもありません。HSIは独占権や領域保護を与えるようなビジネスはしていません。また、ディスカウントなどが行われる可能性のある製品やサービスに関しても、質の確保規準（QA規準）が遵守される限り、HSIは制限を設けておらず、アドバイスもしていません。コース教材や認定カード、その他の購入費用以外、講習開催から得られるいかなる収入も、HSIの収入にはなりません。クラス教材や認定カードを含む講習料金の受講者一人あたりの価格は、HSIではなく、個々のTCが決定します。これはMFA JAPANと傘下のTCとの関係とも同様です。

## HSIは公認を受けているか？

はい。HSIはthe Commission of Accreditation of Pre-hospital Continuing Education (CAPCE、プレホスピタル継続教育公認委員会)で全米で公認をうけた組織です。CAPCEは全米のEMS継続教育コースと講習提供者の認定機関です。CAPCEの認定は、すべてのヘルスケア認定機関と同等の継続教育プログラムに対するエビデンスに基づく、専門家による評価プロセスを要求しています。

## HSIのトレーニング・プログラムはエビデンス・ベースか？

はい。統一HSIブランドのもとでリリースされるHSIのトレーニング・プログラムは、これに準拠しています：

1. 2020 International Consensus on Cardiopulmonary Resuscitation (CPR) and Emergency Cardiovascular Care (ECC) Science with Treatment Recommendations (CoSTR) and the 2020 International Consensus on First Aid Science with Treatment Recommendations published by the International Liaison Committee on Resuscitation (ILCOR).
2. 2020 AHA Guidelines Update for Cardiopulmonary Resuscitation (CPR) and Emergency Cardiovascular Care (ECC), and the 2020 AHA and American Red Cross (ARC) Focused Update for First Aid and pertinent annual Guidelines Updates.

3. American Academy of Pediatrics, American Public Health Association, National Resource Center for Health and Safety in Child Care and Early Education. CFOC Standards Online Database. Aurora, CO; National Resource Center for Health and Safety in Child Care and Early Education; 2020
4. Recommendations of the Federal Occupational Safety and Health Administration (OSHA) Best Practices Guide: Fundamentals of a Workplace First-Aid Program.
5. JRC 救急蘇生法の指針 2020 (日本版)

### MFA トレーニング・プログラムは AHA や米国赤十字のそれと同等か？

はい。AHA、ARC、HSI は、米国におけるファーストエイドと CPR トレーニング提供組織の最大手です。

### HSI トレーニング・プログラムは広く承認・公認されているか？

はい。HSI のトレーニング・プログラムは、現在、米国において何百もの職業や専門分野において、何千もの州の規制機関、職業免許委員会、専門家団体、委員会、協議会の要件を満たす業界資格として受け入れられ、承認され、または認められています。

### 認定カード発行には、実技の対面評価が必要なのか？

はい。精神運動技能（サイコモータースキル）の目標を含む HSI/MFA トレーニング・プログラムでは、対面式で、実際に手を動かすことが必要です。HSI/MFA 認可のインストラクターによるスキル評価で、スキル能力を確認してから正規の認定カードが発行されます。

### オンラインだけの CPR やファーストエイドのトレーニングは OSHA の規準を満たしているか？

オンラインのみのファーストエイド、または CPR トレーニングは、連邦労働安全衛生局（OSHA）の OSHA 要件を満たしていません。

### TCAM 改訂の頻度は？

TCAM は必要に応じて改訂されます。

---

トレーニングセンターおよびトレーニングセンター・ディレクターとしての承認は、権利ではなく特典であり、HSI/MFA の独自の裁量でいつでも拒否、一時停止、または取り消すことができる

---

### さらに疑問・質問があるときは？

質問がある場合には、一般受講者は info@mfa-japan.com へ、TC あるいはインストラクター、トレーナーは in\_sup@mfa-japan.com へ質問をお寄せください。休日を除く数日中に回答がない場合には、メールを再送するか、042-345-9970 までお電話ください。メールが自動的に迷惑メールとして判断された可能性があります。



## キーワードの定義

以下のキイ・ワードは、トレーニング・センター（以下 TC） 規準の全体的な適用における透明性と意味を明確にするために定義されています。

**所属：** 所属とは、自分自身を結びつけること、関連付けることを意味する。HSI の認可インストラクターまたは IT は、現在承認されている主要な HSI トレーニング・センターとの提携を維持することが義務付けられています。

**承認：** 承認とは、HSI トレーニング・センターとして運営し、HSI のトレーニング・プログラムを提供することを許可することです。一旦承認された TC の承認は、無効化、一時停止、または取り消されるまで有効です。

**Authentic(オーセンティック)：** 議論の余地のない起源；本物。

**認可：** 認可とは、有資格者が HSI トレーニング・プログラムを教えることを、HSI/MFAJapan（以下、MFA-J）が許可することである。

**認可期間は1年 (annual) です。** 認可は、HSI の独自の裁量で、いつでも拒否、一時停止、または取り消すことができます。

**認定：** 認定とは、要件を満たしていることを確認することです。資格を有し、権限を与えられた HSI のインストラクターまたは IT は、該当するトレーニング・プログラム規準の要件を満たした個人に対し、正規の認定証を合法的に発行します。

**偽造証明書：** 欺く意図の有無にかかわらず、承認 TC、認可インストラクター、その他により作成または発行された、真正な HSI 認定カードの複製、コピー、または模造の認定カードまたは認定証書。

**ハラスメント：** ハラスメントとは、歓迎されない、攻撃的、威圧的、敵対的、または虐待的な行為のことです。

**インアクティブ (不活発)：** 不活発とは、活動していない、あるいは使用されていないことを意味します。HSI/MFA インストラクターまたはインストラクター・トレーナーの認可がインアクティブになるのは、認可が失効した場合、必要な更新を怠った場合、TC との提携を維持しなかった場合です。承認されたトレーニングセンターの場合は、所属している、現在承認されているインストラクターまたは IT が一人もいなくなったとき、あるいは、現行の HSI/MFA トレーニングプログラムを一つも所有しなくなったときに、活動停止となります。

**有資格者：** 有資格とは、個人が HSI/MFA プログラムを教えるのに必要なスキル、経験、知識を有することを意味します。有資格者は、HSI/MFA インストラクター養成コースまたは IT コース (IDC/ITC) の修了要件を満たすか、相互認定 (他の組織や機関からの現在有効な資格証明書の受け入れ、日本では適用しない) によって、認可を受ける資格を得ます。

**再認可：** 再認可とは、再び認可することを意味する。認定された HSI/MFA インストラクターまたは IT で、HSI/MFA トレーニング・プログラムを教え続けたい人は、毎年再認可されなければなりません。

**更新：** 更新とは、再び行う (繰り返す) という意味です。更新コースは、現在認定を受けており、認定を維持することを希望する、または維持することが義務付けられている個人を対象としています。更新コースへの参加には 30 日間の猶予期間が認められています。ただし、この猶予期間は認定期間を延長するものではありません。更新コースは必要に応じ適宜開催されます。

**資格の再取得：** 資格の再取得とは、再び資格を得ることを意味します。90 日以上有効期限が切れた HSI/MFA 認可インストラクターまたは IT は、再認可を受ける前に再資格を取得しなければなりません。

**アップデート：** アップデートとは、HSI/MFA の認可インストラクターや IT 担当者に、何かに関する最新の情報を与えることを意味します。インストラクターや IT は、最新の情報に精通し、それを確実に教えるために、HSI/MFA 主催のアップデート・コースターを修了することが求められることがあります。例えば、ファーストエイド、CPR、緊急心臓ケアのガイドラインが改訂された場合に、通常、更新クラスが必要となります。アップデート・コースを修了すると、インストラクターまたは IT には再認可を受ける資格が与えられます。

**アップグレード：** アップグレードとは、HSI/MFA 指導者の認定レベルを上げることを意味します。HSI/MFA インストラクターは、HSI IT 養成コースを修了する要件を満たすことで、IT 認定レベルにアップグレードすることができます。

## Section 2: トレーニングセンター (TC) 規準

### TC 承認 (認可) の条件

1. TC 及び TC ディレクターとして承認されることは特典であり、権利ではないため、HSI (日本では MFA JAPAN) の単独自由裁量で資格を拒否、停止、取り消されることがあります。
2. TC 承認により、HSI/MFA プログラムを提供する許可を得られます。承認を得るには申請書の提出が必要になります。
3. TC 申請書に記載された情報のいかなるものも、虚偽記載あるいは改ざんの証拠が出た場合には、承認の拒否や取り消しという結果を招くこととなります。
4. TC は TC ディレクターを一人任命しなくてはなりません。ひとつの TC に一人の TC ディレクターになります。
  - a. TC ディレクターは、当 TC センターの応急救護講習活動が TC 規準とトレーニング・プログラム規準に準拠していることを確認する責任を負います。
  - b. HSI/MFA 承認 TC の他の支部、部門、または所在地で行われる HSI/MFA トレーニング・プログラムは、TC ディレクターの責任となります。
5. TC ディレクターは、TC 申請書の提出と承認が、その組織に義務を負わせることに同意します：
 

<ol style="list-style-type: none"> <li>a. TC 規準およびプログラム規準を遵守すること、及び</li> <li>b. トレーニング・ビジネス実施に関する全ての行政、法律、法規、条例、規則、管理上のルール、および職業上必要とされるトレーニングの認可、実施、管理などを遵守すること。</li> </ol>	<hr style="border: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"/> <p><i>TC 及び TC ディレクターとして承認されることは特典であり、権利ではないため、HSI (日本では MFA JAPAN) の単独自由裁量で資格を拒否、停止、取り消されることがあります。</i></p> <hr style="border: 1px solid black; margin-top: 5px;"/>
---	--
6. いかなる違法、不正、非倫理的、あるいは職業倫理に反する行為、あるいは TC ディレクターの義務、資格、機能に関する重大な犯罪 (性犯罪の有罪判決または性犯罪者としての登録義務を含むがこれらに限定されない) が行われた場合には、TC の承認は時を選ばず、拒否、停止、あるいは取り消しという結果に帰着することがあります。
7. TC ディレクターが、HSI/MFA の TC 承認前、あるいは承認期間中に、いずれかの地域で重罪を犯したか、有罪判決を受けた場合、あるいは、政府または専門職の免許、許可、認定、公的指定、または事前の承認が一時停止、取り消し、または拒否された場合は、その状況についての詳細な説明を提出する必要があります。
  - a. このような状況は、承認を絶対的に妨げるものではないが、HSI/MFA の QA 委員会の審査と決定の対象となります。これを怠った場合は、認可取り消し処分の根拠となります。
8. TC の承認は、休止、停止、取り消しとなるまでは有効です。休止、一時停止、または取り消しは、通知の時点で有効となります。
9. HSI は、TC の現在のステータス (現役、休止、停止、取り消し等の処分) を、法の執行者や、行政、取締官、職業上の許可を与える委員会、専門的な職業協会など、あるいは HSI、MFA JAPAN が適切と思うその他の対象に伝達する権利を有します。すべての TC ディレクターは、承認の条件としてこの情報の公開に同意するものです。
10. TC ディレクターは、TC ディレクターや所属 / 提携インストラクター、トレーナーの行動や怠慢によって、あるいは関連して第三者に生じた、いかなるクレーム、損失、法的責任、被害、費用から、(あるいは、それらに対して) HSI および MFA JAPAN を守り、保護して被害が及ばないようにすることに同意するものとします。
11. HSI (日本語版は MFA JAPAN) が制作していない、あるいは認可、承認していないその道の専門家、補足的なトレーニング教材やトレーニング機器を使用することができます。しかしながら、これらの補助教材や装置は、HSI/MFA の教育システムの完全性を保証するものでなければなりません。つまり、そのような副教材は：
 

<ol style="list-style-type: none"> <li>a. HSI/MFA 教材の代わりとして使用することはできない。</li> <li>b. コース時間を短縮したり、当該トレーニング規準を変えるために使用することはできない。</li> <li>c. HSI/MFA コース教材と明確に区別し、HSI/MFA の製品でも、ガイドラインでも、考案資料でもないことを明確に伝達しなくてはならない。</li> <li>d. トレーニングセンター、その道の専門家、および / または営利企業とその製品などとの間に商業的関係が存在する場合、それらは受講者に完全に開示されなければならない。</li> </ol>	<hr style="border: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"/> <p><i>TC は、HSI、ASHI、EMS Safety、MEDIC First Aid の名称、プログラム名、ロゴ、研修センターのロゴを含む HSI/MFA のブランド名やロゴを、TC または他者によって考案、作成、制作された、いかなる形式の認定カード、認定証、コース、プログラム、研修教材、または製品にも、あたかもその認定カード、認定証書、コース、プログラム、教材、または製品が HSI/MFA によって作成、承認、推奨、承認、販売されたかのような印象を与えてはならない。</i></p> <hr style="border: 1px solid black; margin-top: 5px;"/>
--	---

12. TC が印刷物やウェブなどに唯一使用できるロゴマークは HSI/MFA の認定 TC のロゴマークのみです。(図2)



図2 TC 承認ロゴと使用ガイドラインは MFA JAPAN のウェブサイトに記載されています。

13. 電子的に使用する時は、www.mfa-japan.com にリンクしなくてはなりません。
14. TC は、HSI、ASHI、EMS Safety、MEDIC First Aid、AVERT プログラム、インストラクターまたは IT 認定カード、認定カード、認定証書、トレーニング教材、および HSI/MFA またはその関連会社が販売する製品を含む HSI ブランドに関わる著作権、商標（マーク）、またはその他の知的財産権の所有権を争わないものとします。TC は、HSI、ASHI、EMS Safety、MEDIC First Aid プログラム、インストラクターまたは IT 認定カード、認定カード、認定証書、研修教材、および HSI またはその関連会社が販売する製品を含む HSI ブランドに関わる著作権、商標（マーク）、またはその他の知的財産権の所有権を争わないものとします。TC は、HSI、ASHI、EMS Safety、MEDIC First Aid の名称、プログラム名、ロゴ、または承認 TC のロゴを含む HSI/MFA のブランド名またはロゴを、TC または他者によって考案、作成、または制作された、いかなる形式の製品にも、HSI またはその関連会社によって作成、承認、推奨、認可、または販売されたものであるかのような印象を与えるように使用してはなりません
15. TC は、HSI、ASHI、EMS Safety、MEDIC First Aid の名称、ロゴ、承認 TC のロゴ、語句、その他のマークと紛らわしい記号を含むマークを、TC の商号、会社名、事業名、屋号、商標またはサービスマークとして使用せず、承認 TC のロゴを TC 自らのロゴまたは名称よりも目立つ位置に表示しないものとします。
16. TC は、認定機関または承認機関から直接書面による許可を得ることなく、印刷物やインターネット上で、これに限定されるものではないが、プレホスピタル継続教育認定委員会（CAPCE）または一般歯科学会（Academy of General Dentistry : AGD）の継続教育プログラム承認（PACE）を含む、HSI の認定機関または承認機関のロゴを使用してはなりません。
17. いかなるマークも、商標、サービスマーク、その他の言葉や記号と組み合わせ、実質的に新しい商標やサービスマークを形成したり、マークが HSI/MFA またはその提携会社以外の所有物のように示唆したりしてはなりません。

#### TC には以下を行うことが義務づけられている：

1. インターネットアクセスおよび常に有効な電子メール・アドレスを維持すること。これを怠った場合は、資格停止または資格剥奪の対象となります。
2. 現在認可されている所属インストラクターと IT の連絡先を含むリストを管理すること。
3. 現在の TC ディレクターが新しい TC ディレクターに交代した場合は、トレーニング・センター申請書一式を速やかに HSI/MFA-J に再提出すること。
  - a. TC ディレクターの無断交代を防ぎ無承認のディレクターの誕生を防ぐため、現 TC ディレクターは後任者に許可を与えなければならない。これを妨げる事情がある場合は、その事情を説明しなければならない。
4. これに限定されるものではないが、所属 / 提携のインストラクターやトレーナーに、以下を含む、違法、不正、非倫理的、あるいはプロとしてあるまじき行為に従事させないこと：
  - a. 日付が古い、認定条件を満たさない人への、コピー、あるいは改ざんを加えた認定カードや認定証書の発行。
  - b. 適切に習得した受講者への認定カードや認定証書の発行を保留したり、または発行しない。
  - c. 講習の記録、インストラクター認定カード、HSI/MFA 認定カードの不正、偽造、または虚偽表示。
  - d. 不正広告。
  - e. 偏見。
  - f. HSI /MFA 認定カードおよび その他の 認定証書を含む、著作権で保護された資料の無断複製、翻訳、修正、または複写。
  - g. 金銭的、あるいはその他ビジネス上の不正、不始末。
  - h. HSI/MFA インストラクター、IT、TC ディレクター、受講者、HSI/MFA スタッフに対するハラスメント。
5. 承認を受けた TC には、少なくとも 1 人のアクティブ・ステータスにある現役インストラクターあるいはトレーナーが所属しなくてはなりません。
  - a. TC ディレクターが唯一の提携インストラクターである場合もあれば、多数の所属・提携インストラクターがいる場合もあります。TC ディレクターは、インストラクターの所属を受け入れるか拒否するかを選択することができます。



6. TC に所属するすべてのインストラクターが、インストラクター養成コース (IDC) を経て、適切に HSI/MFA の認可を得た現役ステータスにあるインストラクターであることを確認してください。
7. TC に所属するインストラクターあるいはトレーナーが全員、適切に資格を取得し、現役であることを確認すること。トレーニングセンターに所属するすべての公認インストラクターまたは IT が、HSI/MFA ジャパン (以下、MFA-J) によって適切に再公認されていることを確認してください。
  - a. 再認可は、HSI/MFA-J ではなく、TC および / またはインストラクターもしくは IT の責任となります (詳細はインストラクターまたは IT の再認可に関する規約をご覧ください)。 ([詳細はインストラクターあるいはトレーナーの再認可ガイドラインを参照のこと](#))
8. 所属・提携するインストラクターおよびトレーナーに対する責任を持つこと。
9. 該当するインストラクターやトレーナーの認可または再認可 (更新) 料の**毎年**の支払いに責任を持って管理すること。
10. MFA インストラクター教材は所属インストラクターやトレーナーが各自で一式購入していること。
11. 購入したプログラムのみで認定証を発行していることを確認すること。
  - a. 特に断りのない限り、HSI、ASHI、EMS Safety、MEDIC First Aid のトレーニング・プログラムが最新版に置き換えられてから 90 日後、旧版は時代遅れとみなされます。TC は、旧版のトレーニング・プログラムを使用したクラスを提供することはできません。
12. トレーニングセンターに所属する、または他のトレーニングセンターと共有する、各認可インストラクターまたは IT には：
  - a. 本 TC 規準とトレーニング・プログラム規準を読ませ、理解させ、遵守させること。
  - b. 受講者一人一人に該当する最新バージョンの受講生用教材キットを配付させること。
  - c. 教える権限を有しているコースの最新ガイドラインに基づいたインストラクター教材一式を各人に持たせること。
  - d. 通常時のスキル・セッションにおいて、受講者とインストラクターの最大人数比および受講者とマネキンの最大比率を維持させること。
  - e. 受講者全員に受講したコースを評価する機会を提供させること。
    - i) 各受講生によるクラス評価アンケートの完了または提出は、認定条件として義務付けられているものではありません。
  - f. 最新の HSI/MFA 認定カードを正当に発行させること。
  - g. すべての CPR マネキン、CPR、AED、ファーストエイド・トレーニング器材は、製造元の指示に従って、清潔に保ち、消毒し、清潔に維持し、正しく作動するようにさせること。
13. 所属、提携、あるいは共用する認可インストラクターやトレーナーを観察し、以下の事柄を見届けること；
  - a. HSI/MFA の最新版のトレーニング・プログラムの必須知識とスキル目標に従って熟練したスキルと、最新の更新状態で教えている。
  - b. 個人的な衛生を守り、講習環境にふさわしいプロフェッショナルな外観を維持している。
  - c. 学習環境を、物理的に安全で、差別や嫌がらせ、偏見などがなく、多様な文化に敏感なものにしている。
  - d. ケガを防ぎ、感染のリスクを最小限にするために十分な予防措置をとっている。
  - e. 各受講者が必要なサイコモータースキルを十分に実地練習できるよう、十分な数の CPR マネキン、訓練器具、備品を使用している。
  - f. 該当する場合には、最新版の筆記試験のみを使用している。
 

<ol style="list-style-type: none"> <li>i) プログラムや行政で義務づけられていない場合は、筆記試験はオプションである。</li> <li>ii) 筆記試験を積極的学習ツールとして利用できる。しかしながら、オプションで行った筆記試験のスコアを認定カードを発行しない理由としてはならない。</li> <li>iii) HSI/MFA の筆記試験はどのようにも変更を加えてはならない；それには合格点を上げたり下げたりすることや、インターネットへの掲載等も含まれます。</li> </ol>	<p><i>HSI/MFA 講習のコース修了報告書に署名し、提出することは、記載された受講者全員が認定の条件を満たしたことを確認したということの意味します。</i></p>
---	--
  - g. 認定証や筆記試験の安全性と完全性を確保するために、合理的な予防措置を講じる (すなわち、不正使用、盗難、複製から保護する)。
14. 認可インストラクターまたは IT が、これらの規準に違反したために TC から無所属になった場合、政府または専門家の免許、許可、認定、または公的な指定が一時停止、取り消し、または拒否された場合、あるいは認可期間中に、罪を認めない、または重罪で有罪判決を受けた場合は、速やかに HSI/MFA-J に通知すること。

15. 監督機関当局、受講者、顧客、所属するインストラクター、および HSI/MFA-J からの苦情には完全かつ速やかに対応すること。
16. 規制当局、法執行当局、受講者、顧客、提携インストラクター、IT、HSI と協力し、HSI/MFA-J、そのトレーニングプログラム、承認された TC、または認可されたインストラクターや IT の信用を危うくするような状況を調査し、是正すること。
17. 米国障害者法 (ADA) に基づき、HSI/MFA のプログラムへのアクセスを求めるすべての障害者に、合理的な配慮を提供すること。
18. インストラクター養成クラス (IDC) の一ス修了報告書を含め、明確で読みやすく、整然としたコース修了報告書を、3 年以上、あるいは特定の地域の規制を遵守するために必要な期間、保管すること。日本では税務書類に合わせて 5 年とする。
  - a. 最新の HSI/MFA コース修了報告書が、主な訓練記録である。
19. すべての HSI/MFA 講習について、講習の実際の実施日を反映した、完全、正確、かつ読みやすいコース修了報告書に、認定インストラクターまたは IT が署名して提出すること。
  - a. コース修了報告書は、講習終了後 10 日以内に提出しなければならない。やむを得ない事情がある場合は、この期間を 30 日まで延長することができるが、事前にその旨を通知すること。
20. (TC が作成した一ス修了報告書を使用する場合) 最新の HSI/MFA コース修了報告書と同じデータと証明文 (宣誓) を持つ一ス修了報告書を使用すること。
21. 各受講者が完了したスキルパフォーマンス・シートは、監督官庁からの要求があった場合のために保管すること。
22. インストラクター申請書または IT 申請書のコピーは、TC との提携期間中、保管すること。
  - a. QA 審査会の要請には、TC が、最後に実施したコース修了報告書、上記のインストラクターまたは IT の資料を含む (ただし必ずしもこれらに限定されない) 文書を提出する必要があります。
  - b. QA 審査会は、懲罰的なものではないものの、その重要な質の確保の目的から、QA 審査会に回答しなかったり、協力を拒否したりした場合は、TC の承認が一時停止または取り消されることとなります。
  - c. TC は、法的拘束力のあるコンプライアンス契約 (「クレデンシャル照会 および苦情に関する条件」を参照) により別段の指定がない限り、2 年に 1 度のみ QA 審査会に選出されることがあります。
23. HSI/MFA-J と協力し、誠実で尊敬に値する商取引の上に築かれた、強力で互恵的なビジネス関係を発展させ、育成すること。滞納請求書の不払い、TC の承認の一時停止または取り消しの理由となります。

## HSI/MFA インストラクターあるいはトレーナーの認可の条件

1. インストラクターおよびトレーナー資格の認可は権利ではなく、特権であり、HSI/MFA の独自の裁量で、時を問わず、拒否されたり、停止されたり、取り消されたりすることがあります。
2. 認可は、HSI/MFA トレーニング・プログラムを教えること、および講習を無事に修了した者に真正正銘の HSI/MFA 認定カードや認定証書を合法的に発行することを許可するものです。認可には署名入りの申請書が必要になります。認可期間は 1 年間です。
3. インストラクターの認可はインストラクター養成コース (IDC) を満足に修了し、必要事項を満たすことによるのみ、得られるものである。
  - a. IT の認可は、IT 養成コース修了が必要であり、追加費用がかかります。
4. インストラクターまたは IT 資格の申請は、IDC/ITC を修了してから 6 カ月以内に提出しなければなりません。やむを得ない事情がある場合は、この期間を 1 年まで延長することができます。
  - a. 1 年経過後は、IDC/ITC の申請は承認されません。
5. インストラクターあるいはトレーナー申請書を提出し、承認されるということは、その者には以下の義務が発生します：
  - a. 認可インストラクターあるいはトレーナーに課せられている条件を遵守することが必要です。
  - b. 北米の内外に拘わらず、職業的に必要とされる訓練の実施や管理、承認などを管轄する法や条例、管理上のルールを遵守すること。
6. 申請書に記載された資格や称号等 (ライセンス、認定証、あるいは登録証など) は、有効期限内であり、適切に、そして正当に得たものであること。申請書のどの情報でも改ざんあるいは虚偽の証拠がある場合には、認定・認可の取り消しの対象となります。
7. 違法、不誠実、非倫理的、攻撃的、あるいは職業倫理に反する行為を行った場合、あるいは HSI/MFA 認可インストラクターやトレーナーの職務、資格、あるいは機能に実質的に関連する犯罪で有罪判決を受けた場合 (性犯罪の有罪判決や性犯罪者としての登録義務を含むがこれに限定されない)、インストラクターや IT の公認はいつでも拒否、一時停止、あるいは取り消される可能性があります。インストラクターあるいはトレーナーが、認定前、あるいは認定中に、所有している政府あるいは行政、あるいは当該専門組織による営業許可証や職業的な認定証が停止、取り消し、あるいは拒否されたり、不抗争答弁 (検察側の主張に反対しない)、あるいは有罪判決が下された場合は、状況の詳細説明を提出しなくてはなりません。そのような状況は必ずしも認定・認可を確実に妨げるものとは限らないものの、HSI/MFA の QA 審査会の調査および決定の対象となります。これを怠ると公認・認可・認定の取り消し処分の根拠となります。
8. HSI/MFA-J には、法の執行者、当該取締役人、職業上の認定委員会、専門職の協会、あるいはその他の適切と思われる対象に、認定・認可したインストラクターやトレーナーの現在のステータス (現役、休止、停止処分、取消処分など) について伝える権利があります。すべてのインストラクターと IT は、認可の条件として、この情報の公開に同意するものです。
9. 認定・認可の申請書に記載された署名により、あらゆる苦情や損失、訴訟理由、賠償責任、損害・損傷、当該インストラクター、あるいはトレーナーの行動や怠慢に関連して引き起こされて第三者が主張する費用などのすべてから、HSI および MFA JAPAN を保護し、防衛し、損害から守ることに同意したことを意味します。
10. 印刷物または電子申請書による提出と承認は、認可インストラクターまたは IT の行為または不作為に関連または起因する、第三者から主張されるすべての請求、損失、訴訟、責任、損害、費用から HSI/MFA を免責し、防御し、HSI/MFA-J に損害を与えないものとします。

## 認可インストラクターあるいはトレーナーは、以下を遵守しなくてはならない：

1. 最新の有効な e メール・アドレスと現住所を MFA JAPAN に連絡すること。これを怠ると一時停止または失効の根拠となります。
2. 一つの主な TC に所属し続けていること。
3. 熟練し、常に最新情報に基づいて行動し、現役であり、最新の MFA プログラムのトレーニング規準と、必須となる知識とスキル目標に従って教えること。
  - a. 特に断りのない限り、HSI、ASHI、EMS Safety、MEDIC First Aid のトレーニング・プログラムが最新版に置き換えられてから 120 日後、旧版は時代遅れとみなされる。インストラクターは、特段の例外が通知されない限り、旧版の講習プログラム資料を使用して講習を行うことはできない。
4. プロの講習にふさわしく、自分自身の衛生を保ち、学習環境に適した外見 (服装など) を保つこと。



5. 受講者各人に最新版の受講者用教材（受講生ブック）を配付し、コース中およびコース後に参照できるようにすること。
6. 学習環境が物理的に安全で、差別、ハラスメント、偏見がなく、文化の違いに配慮すること。
7. 講習中のケガや感染のリスクを最小限に保つために適切な予防措置を講じること。
8. 各受講者が必要なサイコモータースキルを十分に実習できるよう、十分な数の CPR マネキン、訓練器材、備品を用意すること。
9. 通常時のスキル・セッションにおいて、受講者とインストラクターの人数比および受講者とマネキンの比率の最大値を守ることにすること。
10. デジタルまたは紙ベースの「クラス評価アンケート」を使って、受講者に HSI/MFA の講習を評価する機会を与えること。
11. 筆記試験が必要な場合には、HSI/MFA の最新版だけを使用すること。
12. （義務づけられている場合に行う）筆記試験でカンニングが発生しないように十分な予防策を講じること。
13. HSI/MFA の各クラスの実際の講習日を反映した、完全に正確かつ読みやすいコース修了報告書に署名して提出すること。
  - a. 最新の HSI/MFA コース修了報告書が、訓練の主な記録となる。
  - b. HSI/MFA 講習のコース修了報告書に署名して提出することは、記載された受講者全員が認定の諸条件を満たしていることを確認したことを意味する。
14. 以下に限定されるものではないが、違法行為、不正行為、不道徳行為、プロとしてあるまじき行為に従事してはならない：
  - a. 古いカードや条件を満たしていない受講者への認定カードの発行、あるいは複写（コピー）、偽造した認定カードの発行。
  - b. 発行されるべき受講者への認定カードの保留。
  - c. コース記録や MFA 認定カード、認定証の改ざん、偽造を含む不正行為、偽造、不実表示。
  - d. 虚偽の広告
  - e. 差別
  - f. HSI/MFA 認定カードや認定証書を含む著作権で保護されている資料の無断複製、翻訳、修正、複写。
  - g. 金銭的、あるいはその他の業務上の不始末。
  - h. 他の有資格 HSI/MFA インストラクターやトレーナー、TC ディレクター、クラス参加者、あるいは MFA JAPAN スタッフに対する誹謗中傷や嫌がらせ、ハラスメント。
  - i. トレーナーの場合；適切に条件を満たした候補者に、正当な理由なく、インストラクター申請書を提出しなかったり、インストラクター認定カードを保留したりしない。
15. HSI/MFA JAPAN、TC ディレクター、監督機関（行政）、受講者、顧客、その他からの苦情には速やかに応答すること。
16. MFA JAPAN や HSI/MFA プログラム、承認 TC、認可インストラクターやトレーナーに付随している信用や善意を危険にさらす、あらゆる状況を調査し修正するために、TC ディレクター、監督機関（行政）、法の執行機関、受講者、顧客、HSI または MFA JAPAN に協力すること。
17. HSI/MFA トレーニングを受講したい障害者に合理的な便宜を提供すること。
18. 現在活動中（現役）の認可インストラクターおよびトレーナーは、受講者レベルの認定カードを維持する必要はない。
  - a. 認定・認可インストラクターやトレーナーが他の営業許可や他の組織の必要条件を満たすために、受講者レベルで認定されている証拠を提示しなければならない場合には、受講者レベル・コースを満足に修了するために必要な知識およびスキルを満たさなくてはならない。
  - b. HSI/MFA 認可インストラクターやトレーナーが、自分自身のスキルおよび知識を適切に評価できないので、他の認可インストラクターやトレーナーが評価を行ない、適切に文書化（必要な場合には、パフォーマンス評価、筆記試験、受講者レベルのコース修了報告書、認定カード）しなければならない。
19. 認可インストラクターおよびトレーナーは、望むだけ多くの TC で教えることができるが、一つの TC を主な所属先にしなければならない。また、いつでも TC を設立したり、TC の所属先を変更したりできます。

## インストラクターあるいはトレーナー再認可（資格更新）のための条件

1. 認可インストラクターあるいはトレーナーが HSI/MFA によって正しく再認可されていることを見届けるのは TC あるいはインストラクター、トレーナーの責任であり、HSI や MFA JAPAN の責任ではありません。

2. 再認可を受けると、インストラクターまたはITは、「インストラクターまたはITの認可に関する条件」に従う義務が生じます：
  - a. 最新版のインストラクター教材あるいはトレーナー教材を所有しているTCと提携すること。
  - b. インストラクターまたはトレーナーは、認可中の過去1年間に少なくとも1クラスのMFA講習を開催する(あるいは共同で開催すること)。
  - c. トレーナーの場合は、認可中の過去1年間に1コース以上のHSI/MFAインストラクター養成コースを開催すること。※または年間50名以上のプロバイダーを養成・認定すること(日本のみ)。
3. インストラクターおよびトレーナーは、過去1年間に開催した講習を文書化し、かつ再認可の目的でTCディレクターにこの証拠を提供することが義務づけられる。「証拠」とは、1コース以上の修了報告書あるいは受講者の記録を意味する。
4. 1年を過ぎると、インストラクターまたはトレーナーの資格はもはや有効ではない。認定・認可が切れているインストラクターやトレーナーはMFA認定カードを発行することはできない。
5. HSIおよびMFA JAPANは、認定・認可が切れているインストラクターやトレーナーが発行した認定カードを認めるものではなく、当該インストラクターやトレーナーの質や能力、あるいはコース内容や質、結果などに関する責任も負うことはない。
6. 認定インストラクターおよびトレーナーで過去1年間に再認定のための最低限必要な1コースを行なった者は再認定(更新手続き)のための12月末日の期限から最大90日間の猶予期間がある。この猶予期間は、認可期間を延長するものではない。猶予期間を過ぎた場合はセルフスタディと筆記試験を受ける必要があり、別途料金が発生する。
7. 認定インストラクターおよびトレーナーで過去1年間に再認定のための最低限必要な1コースを行わなかった者は、新規インストラクターあるいはトレーナーの認定条件を満たさなくてはならない。つまり、前者はIDCセルフスタディ及び対面講習1日以上、後者はセルフスタディITコースの受講となる。別途料金が発生する。
8. 認定期限を1年以上過ぎた者は、新規インストラクター、あるいはトレーナー養成コースを再受講して認定条件を満たさなければならない。
9. マスタートレーナーは、HSIによって指名されたトレーニングのエキスパートを指す。この指名を受けた者は、トレーナー養成を含むすべてのレベルでコースを開催し、認定を行うことができる。HSIでは2013年からマスタートレーナーの任命を停止しているが、ライセンス契約下で、ライセンシーの職員がマスタートレーナーとして指名されるため、日本ではMFA JAPAN内に2名のマスタートレーナーがいる。

## 認定の条件

1. 「認定」とは、HSI/MFAの認定カードまたは認定証書に記載されたコース修了日に、参加者が、資格を有し、現在認可されているHSI/MFAのインストラクターまたはITが満足するよう、該当する講習プログラム規準の認定条件に従って、必要な知識およびスキル目標の達成を証明したことを意味します。認定は、将来のパフォーマンスを保証するものではなく、免許または学位や資格を示唆するものでもありません。
  - a. 新しいG2020 HSIプログラムに置き換えられたG2015ガイドラインに従ったすべての個別ブランドプログラム(ASHI, MEDIC First Aid, EMS Safety)は、日本ではMFA ジャパンが指定した日以降販売されなくなり、完全切り替え日も指定された日に行われなくてはなりません。
2. 認可インストラクターおよびITは、HSI/MFA講習として宣伝されるすべての講習において、合法的に真正のHSI/MFAの認定カードや認定証書を正規に発行することが求められます。「合法的に真正なものを発行する」とは、認定カードまたは認定証書が以下であることを意味します：
  - a. HSI/MFAの名前とロゴを冠し、HSIによって設計、製造、販売されている。
  - b. HSI/MFAから正式に認可されたインストラクターまたはITが個人の知識と技能の能力を評価し、該当する講習プログラム規準の認定要件に従って合格と判断したHSI/MFAがデザイン、制作、販売している初期、更新、チャレンジ等の講習に出席した個人にのみ、速やかに授与される。
  - c. 最新のもので、完全で、正確で、読みやすいものであること。HSI/MFAの認定カードには、参加者と認定したインストラクターの氏名、インストラクターの登録番号、講習修了日、有効期限、が記載されていなければならない。
  - d. クラス修了後、その場で発行される(日本)。
3. 特に断りのない限り、HSI/MFAの教材のバージョンがアップデートされた日から120日以降に、TC、認定インストラクターおよびITは、HSI/MFAの古いコースの認定カードまたは認定証を発行することはできない。

4. HSI/MFA-J は、廃止されたバージョンの HSI/MFA 講習プログラムを修了した受講者に発行された、HSI/MFA 認定カードを認めません。
5. HSI/MFA-J は、HSI、ASHI、EMS Safety、MEDIC First Aid の認定カードや認定証書の偽造を認めません。さらに、偽造された認定カードまたは認定証が発行された場合、トレーニングセンター、インストラクターまたは IT の質または能力、あるいは講習の適合性、承認、認識、内容、質、または結果について、いかなる責任も義務も負いません。
6. HSI/MFA の印刷物や認定カード、認定証書は、いかなる形でも改変してはならない。これらの内容または外観を変更した場合、その証明書は無効となり、資格停止または失効の理由となります。
7. HSI/MFA 認定カードや認定証書の有効期限は、この認定期間が特定の講習プログラム規準、または地域の法令もしくは規制により優先されない限り、発行月から 2 年を超えることはできない。
8. HSI/MFA 認定カードまたは認定証書は、有効期間が 2 年に満たないものを合法的に発行することができます。その場合は、認定期間の短縮に関する TC の方針または慣行の根拠は、クラス参加者に公開されなければなりません。
9. HSI/MFA は、講習プログラム規準の認定条件を満たしていない参加者に発行された HSI/MFA 認定カードを認めません。
10. HSI/MFA 更新クラスは、現在認定を受けており、認定を維持することを望む、あるいは必要とされる人のためのものです。現在認定を受けていない人は、HSI/MFA 更新クラスに参加することはできません。
11. HSI/MFA 認定カードまたは認定証書は、正規の HSI/MFA 講習プログラムでない講習の修了に対して正当に発行されることはありません。
12. HSI/MFA 講習として宣伝されているクラスにおいて、HSI/MFA 認定カードや認定証書の代用として、他の認定カードまたは認定証書を合法的に発行することはできません。
13. HSI/MFA は、TC ディレクター、認可インストラクター、または IT に代わって、HSI/MFA 認定カードや認定証書を正当に発行することはできません。認定カードや認定証書の合法的な発行は、HSI/MFA ではなく、TC ディレクター、個人の知識および技能の能力を個人的に評価した認可インストラクターまたは IT の責任です。
14. HSI/MFA 認定カードや認定証書を合法的に発行する責任は、TC ディレクターおよび / または認可インストラクターまたは IT 以外の者に任せたり割り振ることはできません。
15. HSI/MFA 認定カードや認定証書は、受講者が正当に取得した後、記載された有効期限まで有効です。
16. 受講料を徴収し、適切に取得された HSI/MFA 認定カードや認定証書の発行を怠ることは、資格停止または取り消しの理由となります。HSI/MFA は、影響を受けた当事者が、地元の法執行機関の経済犯罪部門に事件を報告することにより、救済を求めることを奨励します。
17. HSI/MFA 認定カードの発行が、TC とその顧客との間の契約上の合意を条件とする場合、「参加認定」書類は、HSI 認定カードが発行されるまでの間、受講生に発行される可能性があります。認定カードは契約条件に従って発行されます。
 

	<i>HSI/MFA コースとして宣伝されているコースにおいて、HSI/MFA 認定カードや認定証書の代用として、他の認定カードまたは認定証を正当に発行することはできない。</i>
--	--

  - a. TC が、HSI/MFA 認定カードを発行された受講者と従業員関係を持つ状況では、TC は、雇用方針と慣行に従って認定カードを保持する権利を有します。
18. 誰でも、HSI/MFA トレーニング教材を購入し、それを使って教えることができ、HSI/MFA 認定カードや認定証書を発行しないことを選択することも、自作の認定カードや認定証を発行することを選択することも、発行しないことを選択することもできるかもしれない。しかし、そのような場合、HSI/MFA は：
  - a. HSI、ASHI、EMS Safety、MEDIC First Aid の名称、ロゴ、または商標を、講習の広告、ウェブサイト、名簿、認定カード、または壁掛けタイプの証明書のどこかに表示することを許さない。
  - b. HSI/MFA 認可インストラクターまたは IT に割り当てられた登録識別番号を、クラスの広告、ウェブサイト、名簿、認定カード、または壁掛けタイプの証明書や認定証のどこかに表示することを許さない。
  - c. 受講者に HSI/MFA 認定カードや認定証書を発行することを許さない。
  - d. そのような講習も、発行された認定カード、認定証書も認めない。
  - e. TC の承認、インストラクターまたは IT の認可をしない。
  - f. 当該 TC、インストラクターもしくは IT の質もしくは能力、または講習の適合性、承認、認識、内容、質もしくは結果について、いかなる責任も負わない。



## 苦情と資格照会に関する条件

1. 苦情とは、TC ディレクター、認可インストラクター、または IT が、不正、非倫理的、攻撃的、または非専門的な行為を行った、あるいは適用される法律、規則、または規制に違反したという書面による申し立てを指します。
2. 資格照会とは、インストラクターまたは IT の認可に使用された資格を確認するための HSI/MFA による正式な要請です。
3. 誰でも、HSI/MFA 承認 TC ディレクター、認可インストラクター、または HSI/MFA を含む IT に対して、書面による資格照会や苦情を提出することができます。
4. 苦情と資格に関する問い合わせは、日本国内では日本語で、書面で提出しなければなりません。国内では、日本語以外、匿名、口頭による苦情や資格に関する問い合わせには対応しません。
5. 管轄する TC 規準は、苦情または資格照会が提出された時点で有効な規準です。
6. HSI/MFA の慣行は、プロセスを通じて、苦情申立者の身元を秘密にすることです。しかし、関係する出来事の特異性により、苦情や資格に関する問い合わせの中には、秘密を保持することが困難または不可能なものもあります。
7. 正当な資格に関する問い合わせや苦情を持つ者は、報復を恐れたり、経験すべきではありません。TC ディレクター、認可インストラクター、または IT が申立者に報復したことを示唆する合理的な証拠が存在する場合、HSI/MFA は、他の措置の中でも、報復を行った団体または個人の承認または認可を停止または取り消すことを選択することができます。
8. 資格の照会または苦情が、悪意を持って虚偽に行われたものであることが HSI/MFA によって判明した場合は、認可停止または取り消しの根拠となります。
9. 苦情を立証するために、HSI/MFA は、認可インストラクターと IT が実施する講習に匿名で出席し、評価する権利を有しています。

## プロセス

1. HSI/MFA-J が苦情を受け取ったら、それを審査します。HSI/MFA-J は、必要に応じて、追加情報を求めて申立人に連絡することがあります。
  - a. TC 規準に対する明確で文書化された違反を除き、HSI/MFA-J は、従業員や請負業者の管理、ビジネス上の債務の回収、契約条項、真実の表現など、ビジネス上の紛争の解決には関与しませんし、関与するつもりもありません。そのような場合は、弁護士に相談してください。
2. HSI/MFA は、苦情を受理しないことを決定する場合があります。
  - a. 苦情を受理しないという決定は、苦情にメリットがないということを意味するものではありません。それは、HSI/MFA がすでにその問題を検討済みであるか、HSI/MFA にはその問題を扱うための十分な資料や適切な権限がないということ以上の意味ではないかもしれません。
  - b. HSI/MFA が苦情を拒否する場合は、速やかに申立人に通知されます。
3. HSI/MFA が苦情を受理した場合、専門的、合理的、公正かつ一貫した方法で、苦情の手続きを行います。
4. 資格を確認する際、または書面による苦情を受理する際、HSI/MFA は以下を行います：
  - a. 速やかに手続きを開始すること。
  - b. TC ディレクター、認可インストラクター、または IT に受け取りと、読んだことの確認を要求することを E メールで通知します。
  - c. 妥当な期間内に、徹底的かつ明確な書面による回答を求めます。
5. TC ディレクターおよびインストラクターは、指定された時間内に、迅速かつ十分に日本語で書かれた、書面にて回答することが義務付けられています。
6. 苦情申立者、当該 TC ディレクター、インストラクターあるいはトレーナーならびに HSI/MFA の法的保護のため、問い合わせまたは苦情に関連する質問を含むすべての連絡は、書面で行わなければなりません。HSI/MFA-J のスタッフは、資格に関する問い合わせや苦情について電話では話すことはしません。
7. 指定された時間内に書面にて徹底的かつ明確に回答しない場合、TC の承認および / またはインストラクターもしくは IT の認可が停止されます。
8. 90 日以内に回答がない場合、トレーニングセンターの承認および / またはインストラクターもしくは IT の認可が取り消されます。
9. HSI/MFA は、TC ディレクターおよび / またはインストラクターもしくは IT に問い合わせ、または苦情を通知した後、そのプロセス全体を通じて、以下を行うことができます：

- a. 必要に応じて追加書類を要求し、確認する。
  - b. TC またはその提携インストラクターもしくは IT に対して、認定カードの販売を制限したり、拒否したり、または許可すること。
  - c. TC ディレクターの交代を制限、取り消し、あるいは許可したりすることがある。
  - d. 当該 TC ディレクター、インストラクターあるいはトレーナーの承認と認可を制限、取り消し、あるいは許可することがある。
10. 回答の審査後、HSI/MFA-J の QA 委員会 (QAB) は以下のことを行うことができます：
- a. 問い合わせまたは苦情を却下する。
  - b. TC ディレクターおよび / または認可インストラクターまたは IT に対し、承認および / または認可を維持するために取らなければならない是正措置を明記した法的拘束力のあるコンプライアンス同意書の締結を要求する。
  - c. TC の承認を停止または取り消す。
  - d. インストラクターまたは IT の権限を削減、停止、または取り消す。
11. HSI/MFA は QA 委員会の決定に関して、すべての関係者にタイムリーにフォローアップを行います。規制当局や正式な法的手続きに関わる苦情については、やむを得ず遅れることがあります。
12. HSI/MFA-J は、管轄権を持つ権威ある機関から出された正式な文書命令に速やかに対応します。
13. TC の承認が停止または取り消された場合、HSI/MFA プログラムによる講習はすべて中止しなければならない。
- a. TC は、HSI/MFA 講習を提供し、HSI/MFA 認定カードまたは認定証書を発行する権限を有していることを表明することはできない。
  - b. TC はまた、ASHI、EMS Safety、MEDIC First Aid の名称、マーク、シンボルを含む、HSI/MFA の名称、マーク、シンボル、その他の識別特性を、その他のいかなる方法においても使用することを停止しなければならない。
  - c. 現在所属しているすべての認可インストラクターまたは IT は、失効を通知され、他の TC と提携するか、自分の TC を立ち上げるよう奨励されます。
  - d. TC の資格停止や資格剥奪は、苦情に関係のない提携インストラクターや IT に悪影響を及ぼすことはありません。
14. 認可の一時停止または失効により、インストラクターまたは IT は、HSI/MFA トレーニング・プログラムの指導を停止しなければならない。インストラクターまたは IT は、HSI/MFA 講習を提供する認可を受けていることを表明したり、HSI/MFA 認定カードまたは 認定証書を発行したりすることはできなくなる。

### 抗議・嘆願 (申し立て)

1. 一時停止または取り消された TC の承認および / またはインストラクターや IT の認可は、不服申し立てをすることができます。
2. TC ディレクターおよび / またはインストラクターまたは IT は、30 日以内に、説得力のある誠実な嘆願書を QA 審査委員会に提出し、復権を求めなければなりません。この期間は、情状酌量の余地がある場合には、60 日まで延長することができます。
3. 不服申し立てを審査した後、QA 審査委員会は以下のことができます：
  - a. 承認または認可を取り消す。
  - b. 承認または認可を復活させ、TC ディレクターおよび / または認可インストラクターまたは IT が、取るべき是正措置を明記した法的拘束力のあるコンプライアンス同意書に署名することを要求する。
  - c. 控訴を却下する。
4. 不服申し立てが 30 日以内に受理されなかった場合、または却下された場合、HSI/MFA-J は 5 年間、承認または認可の回復を検討しない。
5. 5 年経過後、トレーニングセンター・ディレクターおよび / またはインストラクター、あるいは資格停止または取り消しを受けた IT は、再度不服申し立てを行うことができます。不服申し立て手続きは、上記のように繰り返されます。
6. HSI/MFA は、その決定を速やかに TC ディレクター、インストラクター、または IT に伝えます。

不服申し立てが 30 日以内に受理されない場合、または却下された場合、HSI/MFA は 5 年間、承認または認可の回復を検討しない。

## 国際的なクオリティ・アシュアランス (QA)

1. 日本およびニュージーランドにおけるメディック・ファーストエイドの QA は、各国のオフィスが行っています。
2. 米国以外のその他の国では、TC の承認、インストラクターまたは IT の認可、および QA の監督を HSI が直接行います。
3. 米国外の TC 責任者、認可インストラクターおよび IT は、本トレーニングセンター規準を遵守することに同意する。
  - a. これには、必要な研修の承認、実施、および管理に関連する、該当するすべての地域、州、省、国、または連邦の法律および管理規則を遵守するという要件が含まれる。
  - b. HSI は、米国外の地域での講習プログラムの承認を積極的に求めることはありません。米国外の地域で HSI の講習プログラムの承認を求めることに関心のある方は、希望する特定の職業免許、認定、登録、資格の担当政府機関に相談してください。HSI は、要請に応じて、また実際の支援を行います。
  - c. HSI は、その国特有の法律、規制、条約、慣習、または運営上の現実を遵守するために必要な場合、本トレーニングセンター規準に合理的な例外や便宜を図ります。
4. 翻訳 (MFA JAPAN のようなライセンス契約者を除く)
  - a. HSI 講習プログラム資料の翻訳 (二次的著作物の作成) を許可することは、HSI の独占的権利であり、書面による許可が必要です。無許可の翻訳は著作権侵害となります。
  - b. 受講生用資料は、現地で使用するために翻訳することができます。翻訳は、文言のみ、一語一句に限られ、印刷または電子形式で提供できます。翻訳された受講生用資料のコピーは、HSI に提供しなければなりません。
  - c. 文言のみ、一語一語、翻訳された受講生用資料を受け取る各受講者は、HSI またはその関連会社が作成、販売している英語版の受講生用資料も受け取らなければならない。
  - d. HSI は、HSI、ASHI、EMS Safety、MEDIC First Aid、AVERT のロゴまたは商標を翻訳された受講生用資料のいかなる場所にも使用することを許可しません。翻訳は、HSI によって作成、制作、販売されたものであるという印象を与えてはなりません。
  - e. HSI は翻訳の正確性、同等性、適合性、承認、認識についていかなる責任も負いません。
  - f. 受講生用資料以外の HSI トレーニング・プログラム教材の翻訳許可については、HSI トレーニング教材の著作権を参照のこと。



## Section 3: トレーニング・プログラム規準

1. HSI/MFA トレーニング・プログラム規準は、トレーニングコースを実施し、受講者を認定するための最低条件である。
2. 特に断りのない限り、ASHI、EMS Safety、MEDIC First Aid の講習プログラムが最新版に置き換えられてから 120 日後、その前のバージョンは旧版とみなされる。TC、認可インストラクターおよび IT は、旧バージョンの講習プログラムを用いて、もはや授業を行ったり、認定証を発行したりしてはならない。

### HSI/MFA トレーニング・プログラム規準

HSI/MFA トレーニング・プログラム規準は、HSI ブランドの下で統一された応急救護トレーニング・プログラムに適用されます。HSI ブランドのトレーニング・プログラムの認定カードは、徐々に廃止されるまで、長期にわたって ASHI、EMS Safety、MEDIC First Aid のロゴを継続して使用します。

### G2020 HSI/MFA 成人のファーストエイド (成人の ECFA)

対象者	医療従事者やプロの救助者ではなく、基本的な成人のファーストエイドの訓練と認定を希望する、または職業上必要とされる個人。本プログラムは、小児ファーストエイド、CPR、AED トレーニングの規制要件を満たすように設計されていないため、小児救急法のために使用することはできません。
インストラクター 必要条件	現在活動中の認可 HSI/MFA インストラクター及び IT
受講者 前提条件	なし
必須となる資器材	HSI/MFA Adult First Aid   CPR AED (ベーシックプラス) インストラクターガイドの準備 チェックリストを参照。
講習の時間 (備考参照)	1. インストラクターによる従来型初期クラス： 約 3.5 時間 2. オンライン： 約 3 時間 3. 対人部分： 約 1 時間 4. 更新：指導方法や戦略によって異なる。
受講者：インストラクターの 最大人数比	12 : 1 (6 : 1 を推奨)
受講者：マネキンの 最大比率	3 : 1 (1 : 1 を推奨)
学習の最終目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ファーストエイドを提供する際に適用される基本的な法的概念をまとめる。</li> <li>2. ファーストエイド・プロバイダーの役割、責任、優先順位を認識する。</li> <li>3. ファーストエイドの手順の主要要素を認識する。</li> <li>4. 成人のファーストエイドの手順を説明する。</li> <li>5. ケガ、病気、環境上の緊急事態を認識し、ファーストエイドを施す方法を説明する。</li> <li>6. 健康的なライフスタイルと安全志向の家庭・職場文化の利点を認識する。</li> <li>7. 汚染された個人用保護具の取り外しを正しくデモンストレート (実演) すること。</li> <li>8. 成人のファーストエイドの手順を正しくデモンストレート (実演) すること。</li> <li>9. 重度の外出血の対処法を正しくデモンストレート (実演) すること。</li> <li>10. エピネフリン自己注射器の使い方を正しくデモンストレート (実演) すること。</li> </ol>

**受講者の認定条件**

筆記試験： 雇用主、監督官庁または職業許可機関、あるいはチャレンジを除き、任意。

1. 合格点：73%（またはそれ以上）。
2. HSI/MFA の試験は妥当であり、内容に適切に適合し、確立された項目作成基準に合致しています。合格点を主観的に引き上げることは、十分な知識能力を持つ人が不合格になる可能性があり、不適切です。

**パフォーマンス評価：必須。**

1. 以下のパフォーマンス評価シートのスキル基準によって示されるスキル能力をデモンストレート（実証）すること。
  - a. パフォーマンス評価 4：成人のファーストエイド - 命に関わる重度の外出血
  - b. パフォーマンス評価 5：成人のファーストエイド - 重度のアレルギー反応

**認定期間**

発行月から 2 年を超えないこと。3～6 カ月ごとの間隔練習を強く推奨する。

**講習で必要となる書類**

認定インストラクターによって署名され、提出された、実際の講習の日付を反映した、完全で、正確で、読みやすいベーシックプラス・コース修了報告書。

**備考**

1. このプログラムは、エピネフリン自己注射器トレーニングのためのカリフォルニア州救急医療局によって承認されていません。
  - a. カリフォルニア州の法律と規制は、エピネフリン自己注射器の処方箋を取得し、アナフィラキシーを経験した人にそれを投与し、民事責任の保護を受けるために、追加のトレーニングと州の認定を要求しており、エピネフリン自己注射器の追加のトレーニングと州の認定が必要としています。カリフォルニア州の HSI インストラクターは、G2020 プログラムにおいて、エピネフリン自己注射器を使用するスキル練習を行うべきではありません。
  - b. この規則は、学区や学校またはその職員には適用されません。
2. HSI 成人のファーストエイドはニューヨーク州保健局から夏期デイ・キャンプ救急法におけるニューヨーク州子供キャンプ・スタッフのためのファーストエイドの認定を受けてます。
3. 講習の時間は、クラスの準備、利用可能な設備、スキル練習方法、インストラクターの効率、および受講者の数に影響されます。これらの要因によって、必要な最終目標を達成するために必要な時間が増減することがあります。

## G2020 HSI/MFA 成人のファーストエイド | CPR AED (ベーシックプラス)

**対象者** 医療従事者やプロの救助者ではなく、基本的な成人のファーストエイドと CPR AED の訓練と認定を希望する、または職業上必要とされる個人。このプログラムは、小児ファーストエイド・トレーニングの当局による規制要件を満たすように設計されていないので、その目的で使用しないでください。

**インストラクター  
必要条件** 現在活動中の認可 HSI/MFA インストラクター及びインストラクター・トレーナー

**受講者  
前提条件** なし

**必須となる資器材** HSI/MFA ベーシックプラス・インストラクターガイドの準備チェックリストを参照。

**講習の時間 (備考参照)** 1. インストラクターによる従来型初期クラス： 約4.5 時間  
2. 更新：指導方法や戦略によって異なる。

**受講者：インストラクターの  
最大人数比** 12:1 (6:1 を推奨)

**受講者：マネキンの  
最大比率** 3:1 (1:1 を推奨)

**学習の最終目的**

1. CPR AED の手順の主な要素を認識する。
2. 質の高い成人 CPR の要素と、心停止からの救命におけるそれらの重要性を認識する。
3. 成人の救命の連鎖の輪を明確にする。
4. 質の高い CPR がいつ必要なのかを認識する。
5. 質の高い成人の心肺蘇生法を説明できる。
6. 成人のチョーキングに対する処置の方法を説明する。
7. 汚染された個人用保護具の取り外しを正しくデモンストレート (実演) すること。
8. 成人の CPR 手順を正しくデモンストレート (実演) する。
9. CPR マスクを用いた効果的な人工呼吸の方法を正しく示すことができる。
10. 質の高い成人の CPR を正しくデモンストレート (実演) すること。
11. 成人に対する AED の使用方法を正しくデモンストレート (実演)。
12. ファーストエイドと CPR AED を提供する際に適用される基本的な法的概念をまとめること。
13. ファーストエイド・プロバイダーの役割、責任、優先順位を認識する。
14. ファーストエイドと CPR AED の手順の主な要素を認識する。
15. 成人のファーストエイドの手順を説明する。
16. ケガ、病気、環境上の緊急事態を認識し、ファーストエイドを施す方法を説明する。
17. 健康的なライフスタイルと安全志向の家庭・職場文化の利点を認識する。
18. 汚染された個人用保護具の取り外しを正しくデモンストレート (実演) すること。
19. 成人のファーストエイドの手順を正しくデモンストレート (実演) すること。
20. 重度の外出血のコントロール方法を正しくデモンストレート (実演) すること。
21. エピネフリン自己注射器の使用方法を正しくデモンストレート (実演) すること。

**受講者の認定条件** 筆記試験： 雇用主、監督官庁または職業許可機関、あるいはチャレンジを除き、任意。

1. 合格点： 74% 以上。
2. HSI の試験は妥当であり、内容に適切に適合し、確立された項目作成基準に合致しています。合格点を主観的に引き上げることは、十分な知識能力を持つ人が不合格になる可能性があり、不適切です。

**パフォーマンス評価：必須。**

1. 以下のパフォーマンス評価シートのスキル基準によって示されるスキル能力をデモンストレート（実演）すること。
  - a. パフォーマンス評価 1：プロバイダー1人の CPR AED
  - b. パフォーマンス評価 4：重度の命にかかわる外出血
  - c. パフォーマンス評価 5：成人のファーストエイド - 重度のアレルギー反応

**認定期間** 発行月から 2 年を超えないこと。3～6 ヶ月ごとの間隔練習を強く推奨する。

**講習で必要となる書類** 認定インストラクターによって署名され、提出された、実際の講習の日付を反映した、完全で、正確で、読みやすい HSI/MFA ベーシックプラス・コース修了報告書。

**備考**

1. このプログラムは、エピネフリン自己注射器トレーニングのためのカリフォルニア州救急医療局によって承認されていません。
  - a. カリフォルニア州の法律と規制は、エピネフリン自己注射器の処方箋を取得し、アナフィラキシーを経験した人にそれを投与し、民事責任の保護を受けるために、追加のトレーニングと州の認定を要求しており、エピネフリン自己注射器の追加のトレーニングと州の認定が必要としています。カリフォルニア州の HSI インストラクターは、救急医療局の G2020 プログラムにおいて、エピネフリン自己注射器を使用するスキル練習を教えたい場合は 2025 年まで認可されたい Ashi のプログラムを追加購入して使用しなくてはなりません。
  - b. この規則は、学区や学校またはその職員には適用されません。
2. HSI/MFA 成人のファーストエイド | CPR AED はニューヨーク州保健局から夏期デイ・キャンプ救急法におけるニューヨーク州子供キャンプ・スタッフのためのファーストエイドの認定を受けてます。
3. 講習の時間は、クラスの準備、利用可能な設備、スキル練習方法、インストラクターの効率、および受講者の数に影響されます。これらの要因によって、必要な最終目標を達成するために必要な時間が増減することがあります。

## G2020 HSI/MFA 成人の CPR AED (ケアプラス - ベーシックプラス受講生ブック使用)

**対象者** 医療従事者やプロの救助者ではなく、成人、小児、あるいは乳児の CPR AED の訓練と認定を希望する、または職業上必要とされる個人。

**インストラクター  
必要条件** 現在活動中(現役)の認可 HSI/MFA インストラクター及びインストラクター・トレーナー

**受講者  
前提条件** なし

**必須となる資器材** HSI/MFA 成人の First Aid | CPR AED (ベーシックプラス) インストラクターガイドの準備  
チェックリストを参照。

**講習の時間 (備考参照)** 1. インストラクターによる従来型初期クラスー成人のみ：約 1.5 時間 / 成人と小児：約 2 時間 /  
小児と乳児：約 2 時間 / 全年齢：約 3 時間。  
2. 更新：指導方法や戦略によって異なる。

**受講者：インストラクターの  
最大人数比** 12 : 1 (6 : 1 を推奨)

**受講者：マネキンの  
最大比率** 3 : 1 (1 : 1 を推奨)

**学習の最終目的**

1. 成人および / または小児の CPR AED の手順の主要要素を認識する。
2. 質の高い成人および / または小児の CPR の要素と、心停止からの救命におけるそれらの重要性を認識する。
3. 成人および / または小児の救命の連鎖を確認する。
4. 質の高い CPR がいつ必要かを認識する。
5. 質の高い成人および / または小児の CPR を説明できる。
6. 成人や子供、乳児のチョーキングの対処法を説明できる。
7. 汚染された個人用保護具の取り外しを正しくデモンストレート (実演) すること。
8. 成人および / または小児の CPR 手順を正しくデモンストレート (実演) する。
9. 効果的なレスキュー呼吸の方法を CPR マスクを使用して正しくデモンストレート (実演) する。※日本ではレサコも可。
10. 質の高い成人および / または小児の CPR を正しくデモンストレート (実演) する。
11. 成人および / または小児に対する AED の使用方法を正しくデモンストレート (実演) する。
12. チョーキングの乳児の対処法を正しくデモンストレート (実演) する。

**受講者の認定条件** 筆記試験：雇用主、規制当局、職業許可機関によって要求された場合、または、チャレンジする場合を除き、任意。

1. 合格点：成人のみ 73%以上、成人と小児 72% 以上、小児と乳児 72% 以上、全年齢 70% 以上。
2. HSI/MFA の試験は妥当であり、内容に適切に適合し、確立された項目作成基準に合致しています。合格点を主観的に引き上げることは、十分な知識能力を持つ人が不合格になる可能性があり、不適切です。

**パフォーマンス評価：必須。**

1. 以下のパフォーマンス評価シートのスキル基準によって示されるスキル能力をデモンストレート (実演) すること。

- a. 成人・小児・幼児の CPR AED (全年齢)
  - i. パフォーマンス評価 1：成人 - プロバイダー 1 人の CPR AED
  - ii. パフォーマンス評価 2：小児 - プロバイダー 1 人の CPR AED
  - iii. パフォーマンス評価 3：乳児 - プロバイダーの 1 人 CPR
- b. 成人と子供の CPR AED
  - i. パフォーマンス評価 1：成人 - プロバイダー 1 人の CPR AED
  - ii. パフォーマンス評価 2：小児 -1 プロバイダー 1 人の CPR AED
- c. 小児・乳児の CPR AED
  - i. パフォーマンス評価 2：小児 - プロバイダー 1 人の CPR AED
  - ii. パフォーマンス評価 3：乳児 - プロバイダー 1 人の CPR
- d. 成人の CPR AED
  - i. パフォーマンス評価 1：成人 - プロバイダー 1 人の CPR AED

**認定期間** 発行月から 2 年を超えないこと。3～6 ヶ月ごとの間隔練習を強く推奨する。

**講習で必要となる書類** 認定インストラクターによって署名され、提出された、実際の講習の日付を反映した、完全で、正確で、読みやすいケアプラス・コース修了報告書。

**備考**  
2. 1. このプログラムは、ニューヨーク州保健局から『レベル III』として認定されています。クラスの長さは、クラスの準備、利用可能な設備、技能練習方法、インストラクターの効率、および生徒の数に影響される。これらの要因によって、必要な最終目標を達成するために必要な時間が増減することがあります。

## G2020 HSI/MFA 小児ファーストエイド | CPR AED (チャイルドケアプラス)

**対象者** 医療従事者やプロの救助者ではなく、小児、乳児、成人のファーストエイドと CPR AED の訓練と認定を希望する、または職業上必要とされる個人。

**インストラクター  
必要条件** 現在活動中の公認 HSI/MFA インストラクター及びインストラクター・トレーナー

**受講者  
前提条件** なし

**必須となる資器材** HSI/MFA チャイルドケアプラス・インストラクターガイドの準備チェックリストを参照。

**講習の時間 (備考参照)** 1. インストラクターによる従来型初期クラス： 約 6 時間  
2. 更新：指導方法や戦略によって異なる。

**受講者：インストラクターの  
最大人数比** 12：1 (6：1 を推奨)

**受講者：マネキンの  
最大比率** 3：1 (1：1 を推奨)

**学習の最終目的**

1. 小児 CPR AED の手順の主要要素を認識する。
2. 質の高い CPR の要素と、心停止からの救命におけるその重要性を認識する。
3. 小児の救命の連鎖を確認する。
4. 質の高い CPR がいつ必要かを認識する。
5. 質の高い小児 / 幼児 / 成人の CPR を説明する。
6. チョーキングの小児 / 幼児 / 大人に対する対処の方法を説明する。



7. 汚染された個人用保護具の取り外しを正しくデモンストレート（実演）すること。
8. 小児および成人の CPR AED の手順を正しくデモンストレート（実演）すること。
9. CPR マスクを用いた効果的な人工呼吸の方法を正しくデモンストレート（実演）できる。\*
10. 質の高い小児、乳児、成人の CPR を正しく実施する。
11. 小児および成人に対する AED の使用方法を正しくデモンストレート（実演）できる。
12. チョーキングの乳児の対処法を正しくデモンストレート（実演）する。
13. 小児のファーストエイド、CPR AED を提供する際に適用される基本的な法的概念をまとめる。
14. 小児ファーストエイド・プロバイダーの役割、責任、優先順位を認識する。
15. 小児ファーストエイドの手順の主要要素を認識する。
16. 小児ファーストエイドの手順を説明する。
17. ケガ、病気、環境上の緊急事態に対する小児ファーストエイドの認識と提供方法を説明する。
18. 安全志向の家庭と職場の文化の利点を認識する。
19. 汚染された個人用保護具の取り外しを正しくデモンストレート（実演）すること。
20. 小児ファーストエイドの手順を正しくデモンストレート（実演）する。
21. 重度の外出血のコントロール法を正しくデモンストレート（実演）する。
22. エピネフリン自己注射器の使用方法を正しくデモンストレート（実演）する。\*

**受講者の認定条件**

**筆記試験：** 雇用主、規制当局、職業許可機関によって要求された場合、または、チャレンジする場合を除き、任意。

1. 合格点： 70% 以上。
2. HSI の試験は妥当であり、内容に適切に適合し、確立された項目作成基準に合致しています。合格点を主観的に引き上げることは、十分な知識能力を持つ人が不合格になる可能性があり、不適切です。

**パフォーマンス評価： 必須。**

1. 以下のパフォーマンス評価シートのスキル基準によって示されるスキル能力をデモンストレート（実演）すること。
  - a. 小児救急法、全年齢 CPR AED（チャイルドケアプラス）
    - i. パフォーマンス評価 1 小児 - プロバイダー1人の CPR AED
    - ii. パフォーマンス評価 2：乳児 - プロバイダー1人の CPR AED
    - iii. パフォーマンス評価 3: 成人 - プロバイダー1人の CPR
  - i. パフォーマンス評価 4：小児ファーストエイド - 命に関わる重度の外出血
  - iv. パフォーマンス評価 5：小児ファーストエイド - 重度のアレルギー反応

**認定期間**

発行月から 2 年を超えないこと。3～6 ヶ月ごとの間隔練習を強く推奨する。

**講習で必要となる書類**

認定インストラクターによって署名され、提出された、実際の講習の日付を反映した、完全で、正確で、読みやすい HSI/MFA Pediatric First Aid | CPR AED（チャイルドケアプラス）コース修了報告書。

**備考**

1. CPR マスクを使用する練習では、レサコを使用することができません（日本のみ）。\*
2. このプログラムはカリフォルニアでチャイルドケア・プロバイダーとスクールバスの運転手のトレーニングとして認可を受けています。
  - a. あなたとあなたの TC は EMSA の HSI 提携プログラムとして承認されるまでは、カリフォルニア州の保育者にこのプログラムを教えないでください。
3. 本プログラムは、エピネフリン自己注射器トレーニングのためのカリフォルニア州救急局により承認されていません。\*
  - a. HSI の G2020 小児ファーストエイド | CPR AED トレーニングプログラムは、一般 EMSA 規制に適合するように設計されていません。カリフォルニア州で EMSA 承認のエピネフリン自己注射器トレーニングを実施したい場合は、2025 年 9 月 30 日まで EMSA 承認されている ASHI のプログラムを購入し、使用する必要があります。
  - b. EMSA の規則は、学区や学校、郡教育局またはその職員には適用されません。

4. HSI 小児 FIRST AID CPR AED はニューヨーク州保健局から夏期デイ・キャンプ・ファーストエイド法におけるニューヨーク州子供キャンプ・スタッフのためのファーストエイド・トレーニングとして承認されています。
5. 講習の時間は、クラスの準備、利用可能な設備、スキル練習方法、インストラクターの効率、および生徒の数に影響されます。これらの要因によって、必要な最終目標を達成するために必要な時間が増減することがあります。

## G2020 HSI/MFA 小児の CPR AED

### (ケアプラス - チャイルドケアプラス受講生ブック使用)

**対象者** 医療従事者やプロの救助者ではなく、小児、乳児、あるいは成人の CPR AED の訓練と認定を希望する、または職業上必要とされる個人。

**インストラクター  
必要条件** 現在活動中 (現役) の認可 HSI/MFA インストラクター

**受講者  
前提条件** なし

**必須となる資器材** HSI/MFA Pediatric First Aid | CPR AED (チャイルドケアプラス) インストラクターガイドの準備チェックリストを参照。

**講習の時間 (備考参照)** 1. 従来型初期クラス - 小児 CPR AED、全年齢：約 2.5 時間 / 小児と成人 CPR AED、小児と乳児：約 2 時間。  
2. 更新：指導方法や戦略によって異なる。

**受講者：インストラクター  
の最大人数比** 12 : 1 (6 : 1 を推奨)

**受講者：マネキンの  
最大比率** 3 : 1 (1 : 1 を推奨)

**学習の最終目的**

1. 小児の CPR AED の手順の主要要素を認識する。
2. 質の高い CPR の要素と、心停止からの救命におけるそれらの重要性を認識する。
3. 小児の救命の連鎖を確認する。
4. 質の高い CPR がいつ必要を認識する。
5. 質の高い小児、乳児、成人の CPR を説明できる。
6. 小児、乳児、成人のチョーキングの対処法を説明できる。
7. 汚染された個人用保護具の取り外しを正しくデモンストレート (実演) すること。
8. 小児、乳児、成人の CPR 手順を正しくデモンストレート (実演) する。
9. 効果的なレスキュー呼吸の方法を CPR マスクを使用して正しくデモンストレート (実演) する。※日本では、レサコ可。
10. 質の高い小児、乳児、成人の CPR を正しくデモンストレート (実演) する。
11. 小児と成人に対する AED の使用方法を正しくデモンストレート (実演) する。
12. チョーキングの乳児の対処法を正しくデモンストレート (実演) する。

<b>受講者の認定条件</b>	<p><b>筆記試験：</b> 雇用主、規制当局、職業許可機関によって要求された場合、または、チャレンジする場合を除き、任意。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 合格点： 成人のみ 73%以上、成人と小児 72% 以上、小児と乳児 72% 以上、全年齢 70% 以上。</li> <li>2. HSI の試験は妥当であり、内容に適切に適合し、確立された項目作成基準に合致しています。合格点を主観的に引き上げることは、十分な知識能力を持つ人が不合格になる可能性があり、不適切です。</li> </ol> <p><b>パフォーマンス評価： 必須。</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 以下のパフォーマンス評価シートのスキル基準によって示されるスキル能力をデモンストレート（実演）すること。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a. 成人・小児・幼児の CPR AED（全年齢） <ol style="list-style-type: none"> <li>i. パフォーマンス評価 1：小児 - プロバイダー 1 人の CPR AED</li> <li>ii. パフォーマンス評価 2：乳児 - プロバイダー 1 人の CPR AED</li> <li>iii. パフォーマンス評価 3：成人 - プロバイダーの 1 人 CPR</li> </ol> </li> <li>b. 成人と小児の CPR AED <ol style="list-style-type: none"> <li>i. パフォーマンス評価 1：小児 - プロバイダー 1 人の CPR AED</li> <li>ii. パフォーマンス評価 3：成人 -1 プロバイダー 1 人の CPR AED</li> </ol> </li> <li>c. 小児・乳児の CPR AED <ol style="list-style-type: none"> <li>i. パフォーマンス評価 1：小児 - プロバイダー 1 人の CPR AED</li> <li>ii. パフォーマンス評価 2：乳児 - プロバイダー 1 人の CPR</li> </ol> </li> <li>d. 成人の CPR AED <ol style="list-style-type: none"> <li>i. パフォーマンス評価 3：成人 - プロバイダー 1 人の CPR AED</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>
-----------------	---

**認定期間** 発行月から 2 年を超えないこと。3～6 ヶ月ごとの間隔練習を強く推奨する。

**講習で必要となる書類** 認定インストラクターによって署名され、提出された、実際の講習の日付を反映した、完全で、正確で、読みやすい HSI/MFA チャイルドケアプラス・コース修了報告書。

**備考**

1. 本プログラムは、カリフォルニア州のチャイルドケアプロバイダーおよびスクールバス運転手の研修用として認可されています。
  - a. あなたとあなたのトレーニングセンターが EMSA の HSI 提携プログラムとして承認されてから、カリフォルニア州の保育者にこのプログラムを教えてください。
2. HSI の小児用 CPR AED は、ニューヨーク州保険局によって一定の条件の下で、すべての HSI 承認 TC と認可インストラクターまたはインストラクタートレーナーに適用されます。
3. 講習の時間は、クラスの準備、利用可能な設備、技能練習方法、インストラクターの効率、および生徒の数に影響される。これらの要因によって、必要な最終目標を達成するために必要な時間が増減することがあります。

## G2020 HSI/MFA 小児のファーストエイド (小児の ECFA)

**対象者** 医療従事者やプロの救助者ではなく、基本的な小児のファーストエイドの訓練と認定を希望する、または職業上必要とされる個人。

**インストラクター  
必要条件** 現在活動中の認可 HSI/MFA インストラクター及び IT

**受講者  
前提条件** なし

必須となる資器材	HSI/MFA 小児 First Aid   CPR AED (チャイルドケアプラス) インストラクターガイドの準備 チェックリストを参照。
講習の時間 (備考参照)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. インストラクターによる従来型初期クラス： 約 4 時間</li> <li>2. オンライン： 約 1.5 時間</li> <li>3. 対人部分： 約 1.5 時間</li> <li>4. 更新：指導方法や戦略によって異なる。</li> </ol>
受講者：インストラクターの最大人数比	12 : 1 (6 : 1 を推奨)
受講者：マネキンの最大比率	3 : 1 (1 : 1 を推奨)
学習の最終目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児ファーストエイドを提供する際に適用される基本的な法的概念をまとめる。</li> <li>2. 小児ファーストエイド・プロバイダーの役割、責任、優先順位を認識する。</li> <li>3. 小児ファーストエイドの手順の主な要素を認識する。</li> <li>4. 小児ファーストエイドの手順を説明する。</li> <li>5. ケガ、病気、環境上の緊急事態を認識し、小児ファーストエイドを施す方法を説明する。</li> <li>6. 健康的なライフスタイルと安全志向の家庭・職場文化の利点を認識する。</li> <li>7. 汚染された個人用保護具の取り外しを正しくデモンストレート (実演) すること。</li> <li>8. 小児ファーストエイドの手順を正しくデモンストレート (実演) すること。</li> <li>9. 重度の外出血のコントロール法を正しくデモンストレート (実演) すること。</li> <li>10. エピネフリン自己注射器の使い方を正しくデモンストレート (実演) すること。</li> </ol>
受講者の認定条件	<p><b>筆記試験：</b> 雇用主、監督官庁または職業許可機関、あるいはチャレンジを除き、任意。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 合格点：70%以上。</li> <li>2. HSI の試験は妥当であり、内容に適切に適合し、確立された項目作成基準に合致しています。合格点を主観的に引き上げることは、十分な知識能力を持つ人が不合格になる可能性があり、不適切です。</li> </ol> <p><b>パフォーマンス評価：必須。</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 以下のパフォーマンス評価シートのスキル基準によって示されるスキル能力をデモンストレート (実証) すること。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a. パフォーマンス評価 4：小児ファーストエイド - 命に関わる重度の外出血</li> <li>b. パフォーマンス評価 5：小児ファーストエイド - 重度のアレルギー反応</li> </ol> </li> </ol>
認定期間	発行月から 2 年を超えないこと。3 ~ 6 ヶ月ごとの間隔練習を強く推奨する。
講習で必要となる書類	認定インストラクターによって署名され、提出された、実際の講習の日付を反映した、完全で、正確で、読みやすい HSI/MFA チャイルドケアプラス・コース修了報告書。
備考	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. このプログラムは、コネティカット州の保育者のトレーニングとして認められていません。</li> <li>2. このプログラムは、カリフォルニア州の保育者及びスクールバス・ドライバーのトレーニングとして認められています。</li> <li>3. このプログラムは、エピネフリン自己注射器トレーニングのためのカリフォルニア州救急医療局によって承認されていません。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a. HSI 2020 小児ファーストエイド   CPR AED はカリフォルニア州の法律と規制に適合する様に設計されていません。</li> <li>b. この規則は、学区や学校またはその職員には適用されません。</li> </ol> </li> </ol>

4. この小児ファーストエイド | CPR AED はニューヨーク州保健局から夏期デイ・キャンプ救急法におけるニューヨーク州子供キャンプ・スタッフのためのファーストエイドの認定を受けてます。
5. 講習の時間は、クラスの準備、利用可能な設備、スキル練習方法、インストラクターの効率、および受講者の数に影響されます。これらの要因によって、必要な最終目標を達成するために必要な時間が増減することがあります。

## G2020 HSI/MFA インストラクター養成コース (IDC)

### 講習対象

指導経験がほとんどない方で、HSI/MFA 応急救護トレーニング・プログラムを教え、評価し、認定するための十分な能力を希望するまたは必要とする人、あるいは、認可が切れたインストラクター、または QA の問題で影響を受けている人。

### IT の必要条件

現在有効な（現役の）HSI/MFA の IT 資格が適切に認可されていること。

### 参加者 前提条件

1. インストラクター候補者は、教えたい事柄をしっかりと認識し、受講者レベルのプログラムで教えるすべてのスキルを十分に発揮できなければならない。
2. 候補者が指導を希望する講習プログラムにおいて、現在有効な受講者レベルの資格、および/または、最低限、受講者レベルのスキルを証明できること：
  - a. 成人、小児、幼児 ープロバイダー1人の CPR AED
  - b. 成人のファーストエイド - 命にかかわる重度の外出血。
  - c. 成人のファーストエイド - 重篤なアレルギー反応
3. 医療従事者に講習を行おうとするインストラクター候補生には、医学的知識と経験（臨床能力）を強く推奨する。
4. インストラクター養成クラスに参加できる推奨最低年齢は 18 歳です。成熟度、責任感、教室での存在感は、年齢にかかわらず、常に考慮されなければならない。

### 必須となる資器材

1. HSI/MFA インストラクター養成コース、IT ガイドの必須となる対面講習部分の教室の設備と教材を参照。

### 講習の時間（備考参照）

1. 事前学習：約 2 時間
2. 対面の部分： 3 日

### 候補生：トレー ナーの 最大人数比

12:1 (6:1 を推奨)

### 受講者：マネキンの 最大比率

3:1 (1:1 を推奨)

### 学習の最終目的

1. HSI/MFA インストラクター認可のためのトレーニング要件をまとめる。
2. インストラクションのデザイン、トレーニング、習得の根底にある普遍的な概念を認識する。
3. HSI/MFA インストラクターの役割と責任を説明する。
4. HSI の管理ツールと講習プログラムについて説明する。
5. 応急救護トレーニングに対する規制、認定、ガイドラインの影響を認識する。
6. HSI/MFA の教材の主な要素を確認する。
7. HSI/MFA の教材の主な要素の使い方を説明できる。



8. 講習完了の要件を説明する。
9. インストラクター候補者の評価と文書化の要件をまとめる。
10. 知識部分のプレゼンテーションの進め方を正しくデモンストレートできる。
11. 受講者のスキル練習の方法を正しくデモンストレートできる。
12. パフォーマンス評価の実施方法を正しくデモンストレートできる。

**インストラクター  
認可の条件**

**筆記試験：必須。**

1. 合格点：IDC 試験 \* で 70%以上

**パフォーマンス評価： 必須**

1. 以下の指導スキルのうち、無作為に選ばれた少なくとも1つの IDC パフォーマンス評価に合格すること。
  - a. 知識のレッスンを行う
  - b. ビデオ主導の練習を使った少人数グループ練習
  - c. スキルのデモンストレーションを行い、スキルシートを使って少人数のグループ練習を行う。
  - d. シナリオシートを使った小グループでの練習
  - e. パフォーマンス評価を行う。

**認可期間**

発行月から1年を超えることはできない。※日本では取得年翌年末まで有効。

**講習で必要となる書類**

IDC を実施する TC は、講習を確定するために、IDC 修了報告書を提出しなければならない。

**備考**

1. 事前学習にかかる時間は個人差があります。
2. 対面式部分を修了するまでの時間は、候補生6名の場合のものです。候補者数が増えた場合は、さらに時間を追加してください。
3. 講習時間は、準備、利用可能な機器、IT の効率によって左右されます。
4. 日本語を読み、話すことができること。
5. IDC を修了した候補者は、トレーニングセンターと提携し、インストラクター申請書を提出し、最終的な認定を受けなければならない。

## G2020 HSI/MFA インストラクター・トレーナー コース (ITC)

**講習対象**

HSI/MFA 認可インストラクターの資格を取得する過程において、インストラクター候補者を指導、コーチング、メンター（助言や相談を通じてサポートする人）として指導するのに十分な知識を得ることを希望する人、またはそれを必要とする人。

**参加者  
前提条件**

現在有効な（現役の）HSI/MFA のインストラクター資格を有し、100名以上の受講者の認定実績（最低限、受講生6名のクラスを8クラス以上の講習・認定経験）があり、過去にQA問題のない人。

**講習の時間**

1. 事前学習：約2時間
2. 対面の部分： 2日(ガイダンス) + インターンシップ1~2コース



**学習の最終目的**

1. TCAM が何のためにあるのか説明できる。
2. TCAM の目的における規格とガイドラインの違いを説明できる。
3. インストラクターおよび / または IT 認可について説明できる。
4. HSI/MFA の QA 委員会の機能とプロセスを説明できる。
5. トレーニング・プログラム規準とは何かを説明できる。
6. MFA のウェブサイトでインストラクターが利用できる機能を説明できる。
7. さまざまな伝達方法を用いた HSI/MFA トレーニングコースの実施方法を説明できる。
8. 様々な指導方法を用いた HSI/MFA トレーニングコースの実施方法を説明できる。
9. HSI/MFA 講習プログラムに見られる指導要素を説明できる。
10. HSI/MFA プログラムに見られる、受講者の様々な実習方法を説明できる。
11. HSI/MFA トレーニング・プログラムの手順を説明できる。
12. HSI/MFA トレーニング・プログラムの連続体について説明できる。
13. 建設的フィードバックについて説明できる。

**インストラクター  
認可の条件****筆記試験：必須（自習式）。**

1. 合格点：IDC 試験で74%以上
2. HSI/MFA の試験は妥当であり、内容に適切に適合し、確立された項目作成基準に合致しています。
  - a. 合格点を主観的に引き上げることは、十分な知識能力を持つ人が不合格になる可能性があり、不適切です。

**認可期間**

発行月から1年を超えることはできない。

**備考**

1. 自習にかかる時間は1分間に200語の速度で読む成人の平均に基づいています。完了までの時間には個人差があります。
2. インストラクター・トレーナーは日本語の読解力とコミュニケーション能力がなくてはなりません。

## Section 4: トレーニングセンター (TC) ガイドライン

トレーニング・センター・ガイドラインは、義務づけではないが、望ましい、良い、あるいは最善を目指す行動と、その他の関連する QA 情報の提示文書です。

### 熟練したインストラクターの属性・特質

1. 頻繁に教える
2. 対人スキルが優れている
3. 時間の管理が効果的である
4. 受講者を客観的に評価する
5. コースを適切に文書化する
6. テーマについて十分な知識を有している
7. 成人の学習スタイルを理解している
8. 知的で、倫理的で、頼りになる
9. 適切でプロフェッショナルな外観を維持している
10. 本質的なスキルで高い能力があることをデモンストレートしている
11. 視聴覚教材の有無に拘わらず教えられる
12. 高い意欲があり、準備に余念なく、自信があり、忍耐強い
13. 指導ツールとして、問題解決シナリオを有効に使うことが出来る

上記の属性は健康と安全に関するプロのインストラクター・グループによって編纂されています。これらの属性は、熟練したインストラクターの質の判断材料とすべく意図されています。熟練したインストラクターとは、合理的に有能な人、つまりは良いインストラクターと定義されます。新規インストラクターが熟練するには、平均的に、受講生 6 名のクラスを 8 クラス以上の講習経験が必要となっています。熟練したインストラクターは、1 か月当たり約 150 人の有能な受講者を認定する能力を有しています。

### 新規インストラクターあるいはトレーナー認可のガイドライン

インストラクターとは、HSI/MFA トレーニング・プログラムを満実に修了した受講者を認定する権限を与えられている者です。トレーナーとは、個人をインストラクターに養成するために訓練し、MFA トレーニング・プログラムを満実に修了した者を認定する権限を与えられた者を指します。(図 3)

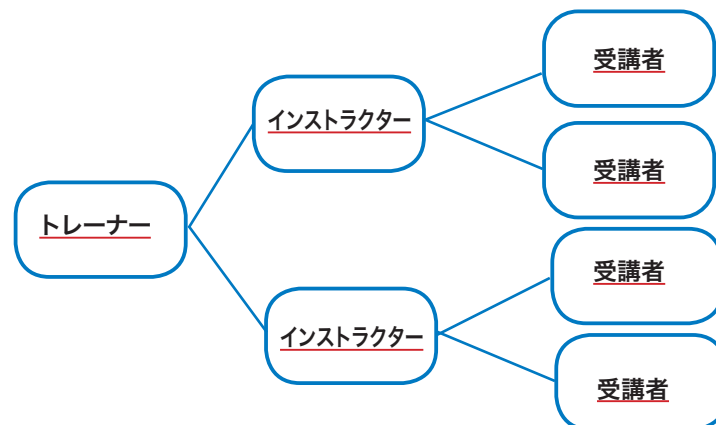


図 3

### インストラクターの認可方法

MFA インストラクターはインストラクター養成コース (IDC) を満実に修了することで認可されます。

### IT の認可方法

MFA インストラクター・トレーナーは、HSI/MFA IT コース (ITC) の修了という方法で認可されます。

## IDC または ITDC による認可

インストラクターまたはインストラクター・トレーナー候補生は、IDC または ITDC（クラスルーム方式あるいはアプレンティスシップ）に参加し、IDC/ITC 規準で説明されている必要事項を満たすことで認可されます。

## 互恵関係によるインストラクターの承認

HSI は、互恵主義を、他の国の現在の資格証明書を受け入れることと定義しています。日本では導入していません。

## 教員免許

米国内では、各種分野における現役の IDC と同等と認めていますが、日本では導入していません。

## トレーニングセンター関連事項

### トレーニングセンター（TC）のビジネス用の名称

潜在的な法的問題と混乱を予防するために、TC 名を注意深く選択してください。これは、対価を得てトレーニング・サービスを行う場合には特に重要です。TC 名は、HSI や MEDIC First Aid、MFA JAPAN、ASHI、EMS Safety、そしてその他の TC 名と似通っていない独自のものでなくてはなりません。似たようなロゴや、スタイル、色などの使用も避けてください。まだ作っていない場合は、ビジネスネームの登録と商標登録を強く検討すべきです。

### コース時間の広告

コースの所要時間の広告は正直でなくてはならず、顧客を誤解させるような表現をしてはなりません。TC は、コースの満足な修了のために必要な知識とスキル目標を受講者が達成して認定を受けたということを裏付ける証拠を有してはなりません。TC は、自らの広告、PR、宣伝などの文章を通常業務として見直し、TC の主張が十分にサポートされていることを見極めるべきです。

## ウェブサイト・インフォメーション・システム

日本では有資格インストラクター及び TC ディレクター、そしてトレーナー諸氏のために、MFA JAPAN のウェブサイト上に設けたインストラクター/トレーナー・サポート・セクションがあります。ここでは、QA 問題を抱えておらず、現役ステータスの認可インストラクター及び TC ディレクター、トレーナー諸氏のための情報を提供しており、このセクションで提供される情報は有資格インストラクターおよび TC ディレクター、トレーナー諸氏のみが利用できます。資格休止、資格停止、資格取り消しの状態にあるインストラクター及び TC ディレクターは有資格インストラクターあるいは TC ディレクター、またはトレーナーではありません。

※様々な書式や情報は適宜アップデートされていますので、更新日を確認のうえ、ご利用ください。

## MEDIC First Aid インストラクション・システムの活用

MFA の指導用資料（教材）は、受講生ブック、インストラクターガイド、ビデオ（DVD）、その他のデジタル・ツールなど相互に関連する製品を編纂したものです。全ての資料は相互作用して、受講者が効果的かつ効率よく特定の知識や心構え、スキルを得られるよう助けることを目標に設計されています。設計された通りに教材を使用することで、TC 及びインストラクターを以下の面で助けます：

1. プログラム規準を遵守できる
2. 適切なカリキュラムの範囲を検証する
3. プロフェッショナルで、一貫性があり、信頼できるトレーニングを提供できる
4. コースの知識、心構え、スキルの長期的な定着を図る
5. 受講者がコースを満足に修了したことを判断し、文書化できる

## 障害者差別禁止法

アメリカの障害者差別禁止法については参考資料としてここに荒訳を掲載します。アメリカの法律ですが、日本でもこれに準じた行動をお願いします：

あらゆる形での包括性と多様性は、あらゆる専門職トレーニングの取り組みに不可欠な側面です。哲学的価値観に加え、承認されたすべてのトレーニングセンターは、障害を持つアメリカ人法 (ADA) などの差別禁止法を遵守しなければなりません。ADA は、雇用、州および地方自治体のサービス、公共施設、商業施設、交通機関などにおける差別を禁止し、障害者の機会均等を保障するものです。ADA は、雇用主に対し、そうすることが過度の困難を強いる場合を除き、障害を持つ有資格者に合理的な配慮を提供することを義務付けています。一般的には、障害を持つ本人が雇用主に対応が必要であることを伝えなければなりません。

合理的配慮とは、一般的に構造上の手段や、家具や備品、補助具、あるいは代替のフォーマットを取り入れることを意味します。障害を持つ参加者は、スキル目標を達成できる限り、スキルの実施方法を調整したり、順応したり、変更したり、修正したりすることができます。例えば、胸部圧迫の効果を最大にするために、ガイドラインでは傷病者を固い床に仰向けに寝かせるよう奨励していますが、膝に障害がある受講者はマネキンテーブルの上に置きたいと言うかも知れません。そのように調整してスキル練習を行ったとしても、インストラクターは受講者のスキル能力の評価を行わなくてはならず、CPR スキルガイドやパフォーマンス評価にあるスキル区分を適切にデモンストレートできない場合は認定条件を満たしていません。

MFA コースに参加を希望している障害者に遭遇した場合、TC は補助的な補助具やサービスを提供することで、技能や知識の測定が根本的に変わるか、過度の負担になることを証明できない限り、感覚、手指、会話能力に障害のある人に適切な補助具やサービスを提供しなければなりません。本項で義務付けられている補助器具やサービスには、録音されたテキスト、通訳、または聴覚障害者が口頭で提供される教材を利用できるようにするその他の効果的な方法、視覚障害者や学習障害者のための点字または大活字のテキストまたは有資格の読み手、または手指障害者が使用できるように調整された教室設備、その他の同様のサービスや行為が含まれます。

外部トレーニング・センター（個人または団体に有料で研修を提供する TC）にとって特に重要なのは、第 36 条「公共施設および商業施設における障害を理由とする差別の禁止」です。この法律では、中等教育、中等後教育、専門職、または商業目的のための申請、免許、認定、または資格認定に関連する試験や授業を提供する民間団体は、障害者が利用しやすい場所と方法でそのような試験や授業を提供するか、またはそのような人のために利用しやすい代替手段を提供しなければならないと定められています。

一般的に、TC は、その人がコースを満足に修了できるか否かに拘わらず、受講したい人を受け入れなくてはなりません。障害者が講習設備（調整、順応、変更）を要求した場合には、必要となる追加費用を含み、可能な限りの解決方法を十分に話し合うことなく要求を拒否してはなりません。必要な場合、HSI/MFA は、障害のある人に配慮して、方針、慣行、手順においてあらゆる合理的な変更を行います。TC は、合理的配慮を要請するために、HSI/MFA-J に相談してください。

## 日本の障害者関連法

日本では 1993 年に障害者基本法が制定されています。これは国や市町村などに福祉施策の充実を求める理念的な法律で、何が差別に当たるのか、またどのような救済措置が取られるのかについて具体的に規定されていませんでした。また、1994 年には高齢者や障害者が利用しやすいことを求めるハートビル法、2000 年には、市町村が地域の実情に即した基本構想を作成することを求めた交通バリアフリー法が制定されました。そして、2004 年 6 月に、障害者に対する差別と権利侵害を禁止した改正・障害者基本法 ([law.e-gov.go.jp/htldata/S45/S45H0084.htm](http://law.e-gov.go.jp/htldata/S45/S45H0084.htm)) が制定されています。その障害者基本法の第 14 条に「教育」という項目がありますが、以下のような記述となっています：

- 1 国及び地方公共団体は、障害者が、その年齢、能力及び障害の状態に応じ、十分な教育が受けられるようにするため、教育の内容及び方法の改善及び充実を図る等必要な施策を講じなければならない。
- 2 国及び地方公共団体は、障害者の教育に関する調査及び研究並びに学校施設の整備を促進しなければならない。
- 3 国及び地方公共団体は、障害のある児童及び生徒と障害のない児童及び生徒との交流及び共同学習を積極的に進めることによって、その相互理解を促進しなければならない。

国内法では、すべて「国および地方公共団体は」とされていますが、米国の例を手本に、私達も可能な限り、この条文に添った努力をしていくことが望まれます。

## MFA 教材・資料の著作権

著作権は「オリジナル（独創的な）作品を著作」した作者を法的に守るためのひとつの形です。著作権を有する人に法で提供されている権利を侵害することは違法行為です。CD や DVD を含むすべての HSI/MFA 教材や資料、製品は著作権に守られており、特に例外が表示されていない限り、文書による許可なくして複写、録音、録画、あるいはその他のいかなる情報収録シ



システムや回収システムを含み、電子的または機械的な形態を問わず、また、いかなる情報記憶・検索システムによっても、使用したりすることはできません。著作権のある作品の大部分、および認定カードや認定証書を除き、HSI/MFAはそのような許可の合理的なリクエストを受け入れます。リクエストは、問題となる正確な資料、出版物のタイトル、ページ番号、グラフィック、ビデオ、または資料の引用元のウェブサイトの URL アドレスを特定しなければなりません。再出版の場合は、要求された素材が含まれる作品の詳細を提供してください。資料が教育目的であるか、営利目的であるかを明記してください。タイトルとエディション番号、著者、出版社、作品に含まれる内容の概要、想定される読者層、初回発行部数（印刷物またはデジタル、ビデオ、オンライン、DVD）を明記してください。出版予定日、販売価格、著作権保護された素材を使用する期間も記入してください。これらすべてのリクエストを HSI に送付すると、処理に 30 日を要します。※ HSI/MFA の著作物の所有者は HSI であるため、利用に関するリクエストは英文にて直接、HSI に提出いただくことになります。

HSI は著作権侵害を真摯に受け止め、国際法、連邦法、州法のもとで利用可能なすべての救済措置を追求します。救済措置には、侵害品およびそれを製造する手段の押収および破壊、経済的な損害に対して最高 15 万米ドルまでの金銭的損害賠償、得られた利益の没収、弁護士費用および裁判費用を含むすべての訴訟費用が含まれます。

## クラスルーム関連事項

### 柔軟性

すべての HSI/MFA プログラムは、職場の特定の要件に適合させることができます。ただし、プログラム規準や認定条件に変更を加えたり、認定条件を逸脱したり、安全性に欠ける分別のない行動、あるいは職業上のライセンスや法的条件を遵守できない場合を除き、すべての MFA プログラムは職場の特定の必要性に合わせる事が可能です。

### 受講生ブック

HSI/MFA の受講生ブックは、クラス情報を順を追って説明しています。優れた教材であり、インストラクターと受講者の双方にとって重要な資料です。受講生ブックは個人使用を目的としています。

### 筆記試験

HSI/MFA は、G2015 トレーニング・プログラムでオープンブック試験を導入しました。オープンブック筆記試験は、暗記した事実を思い出すことよりも、重要ポイントの思考と問題解決を重視し、試験への不安を軽減します。オープンブック筆記試験とは、参考資料が必要な場合、受講者は参考資料を使って試験を受けることができます。参考資料には、授業中に取ったノートや、提供された受講生ブックが含まれます。受験中に参考資料を使用することはできませんが、他の受講者やインストラクターと試験について公然と話すことは認められません。解答は自分自身で行うこと。インストラクターは、答を提供することなく、必要な場合には口頭で試験を読み上げることができます。

### 大人数での受講者：インストラクター人数比

HSI/MFA トレーニング・プログラムの知識目標を伝えるのに、厳密に定義された受講者とインストラクターの比率はありません。理論的には、大きな映写スクリーンやマイクのような視聴覚設備があれば、大人数の指導に講義室のような大きなスペースを使うことができます。しかし、認定に必要なスキル練習や評価を行うには、講義室のような環境は通常、実現不可能です。従って、大人数の指導（集団訓練イベントを含む）のために収容人数の多いスペースを使用する場合は、近隣の会議室や教室など、十分なスペースを確保する必要があります。

### スキル・セッションの受講者：インストラクターの最大人数比

スキル・セッションの受講者とインストラクターの最大人数比は、インストラクターが受講者を適切に観察し、スキル習得を助けられるようにするためのものです。トレーニングセンターとインストラクターは、通常の状況下におけるスキル・セッションの最大比を計画し、維持する必要があります。予期せぬ事態が発生した場合、インストラクターと生徒の比率、および設備と生徒の比率を調整する必要があるかもしれませんが、比率の増加は最小限にとどめるべきです。目標は、参加者全員に十分なスキル練習の時間を与え、必要なスキルを行う能力と自信を身につけさせることでなければなりません。

## 講習におけるシミュレーション用器材

HSI/MFA インストラクターガイドには、教室での使用に必要なシミュレーション器材が明記されています。最適な臨場感を得るために、各年齢層（乳児、小児、成人）に対応した CPR マネキンを用意すること。小児用マネキンがない場合は、成人用マネキンで代用することができます。少なくともメーカー 1 社が 1 体のマネキンで小児と成人の胸部圧迫の深さを調節できるマネキンを販売しています。AED 訓練器の場合は、受講者はトレーニング用のパッドをマネキンに接続できることが必要であり、また、実際にボタンを押して、AED を充電しショックを行うシミュレーションができる必要があります。AED 訓練器は標準的な AED の使用手順を順を追って受講者に知らせるものでなくてはなりません。

## CPR フィードバック器材

フィードバック装置は、CPR トレーニング中の圧迫の速度、深さ、圧迫解除、そして手の位置について、正しく行われたか修正が必要かの情報を伝達してくれます。2020 AHA Guidelines Update for CPR and ECC で強調された科学的エビデンスは、フィードバック装置を合理的、有用、効果的、有益であると推奨しています。フィードバック装置は、マネキンに組み込むことも、マネキンの付属品として使用することもできます。

HSI/MFA では、CPR スキルを教える全てのコースでフィードバック器材の使用を強く奨励しています。

## 講習のスペース

スキル・セッションには適切なスペースが必要です。インストラクターは、物理的に安全で、快適、適切な学習環境を確保しなくてはなりません。クラスルームは照明が良く、換気が十分で、室温も快適であるべきです。狭苦しいクラスルーム・セッティングは避けてください。可能なら、受講者一人あたり 4.5 平方メートルから 5 平方メートルを用意してください。日本では受講者一人あたり 2 畳を目安としています。

## 同等コース

HSI/MFA 以外の社会的に認められているトレーニング組織の有資格インストラクターやトレーナーによって正当に認定された受講者の認定カードを所有している個人は、それに匹敵するあるいは同等とみなされる HSI/MFA コースに、再訓練、再認定、あるいは継続教育の目的で参加することを歓迎します。

## 更新（リフレッシュ）

更新（リフレッシュ）コースは、現在受講者レベルの認定を受けており、スキルの能力をリフレッシュして認定を維持したい（またはその必要がある）人を対象にデザインされています。現在認定が失効している人はリフレッシュ・コースに参加することはできません。CPR とファーストエイドのスキルは当初の訓練や認定から、1 ヶ月から 6 ヶ月以内に急速に劣化していきます。更新トレーニングは、トレーニングの効果を高め、スキルの劣化を抑え、自信を向上させる可能性があります。

## 猶予期間

更新クラスへの参加には、30 日間の猶予期間が認められます。ただし、この猶予期間は認定期間を延長するものではありません。つまり、猶予期間があるからといって、認定期間中にあるということではありません。猶予期間はあくまでも更新講習の機会を逃さないようにしてもらおうための猶予措置です。

## 補習

時折、クラスの時間的制約の中で、認定カードを受け取るために必要な目標に対して、十分な成果をあげられなかったり、目標に達しなかったりする受講者が出ます。インストラクターが、受講者がプログラムの学習目標を達成していないと判断した場合、受講者には補習の機会が与えられるべきです。時間等が許す限り、インストラクターまたは IT は、同じクラス内で受講者の知識および / またはスキルの改善を促すよう試みるべきです。補習日は文書化してください。補習の程度と範囲は、トレーニングセンターによって異なりますが、一般的なルールが 2 つあります: 1) ゴールを達成していない人を認定しないこと、2) 低い基準よりも高い基準を設定した方が良い。双方にとってリラックスした環境での、プロフェッショナルリズム、忍耐、肯定的なコーチングで、ほとんどの受講者を合格というゴールに到達するための助けとなるはずで

## 参加証

HSI/MFA は、トレーニングセンターが、HSI/MFA の全クラスに参加したが、認定を満たすことができなかった個人に対して、HSI/MFA の「コース参加証」を発行することを推奨しています。例えば、身体に障害があり、適



切な胸部圧迫ができない受講者がいた。このような受講者には、適切な胸部圧迫ができないため、認定カードは発行されません。HSI/MFA 認定カードの代わりに HSI/MFA の「参加証」を発行するもう一つの理由は、クラスに参加したが、プログラム規準で要求される筆記試験やパフォーマンス評価に合格するなどを含む、認定条件を満たしていない場合です。参加証は認定条件を満たして獲得する認定証の代わりとなるものではありません。参加証は MFA JAPAN のウェブサイト内、インストラクターサポートからダウンロード、プリントアウトして利用できます。

## 多様性について

HSI/MFA-J は、インストラクターを認定する際、性別、民族、宗教、年齢、障害、社会経済的地位、性的指向による差別を行いません。同様に、認可インストラクターや IT は、人種、民族、言語、文化、背景、出身国、宗教的・政治的信条、年齢、身体的能力、性的指向など、多様な聴衆の前でプログラムを教えます。プロとして多様性に取り組むには、異なる背景、能力、考え方を持つ人々の間で学習とコミュニケーションを促す雰囲気が必要です。認可されたインストラクターと IT は、すべての個人と集団を尊重し、配慮する態度と行動を目指すべきです。教室は、差別、ハラスメント、偏見、虐待的行為から解放されるべきです。以下は、すべての HSI/MFA 講習において、統一性、明確性、最高レベルのプロフェッショナリズムを促進するための一般的なガイドラインです：

### 一般的な多様性（ダイバーシティ）のガイドライン

#### 一般

1. 全ての受講者に参加させる（係わらせる）こと。（全員を講習に巻き込んで、誰も孤立させないこと。）
2. 全ての受講者を公平に扱うこと。
3. 質問の答えが分からない時は素直に認め、調べてからフォローすること。これが信頼を造成してくれる。
4. 実習でそうではないと分かるまで、受講者は全てのスキルを実施できると仮定すること。

#### 性別／外見

1. 全ての受講者にとってプロフェッショナルで快適な雰囲気を確保し提供すること。
2. 全ての受講者に同等の注意を払い、建設的なフィードバックを提供すること。
3. 受講者が性差別的な発言をしているのを見かけたら、それがクラス全体の前であれ、小グループの中であれ、その受講者と個人的に向き合い、そのような発言は不適切であることを伝えるのが最善です。
4. 外見についてコメントしないこと。
5. たとえユーモアのつもりでも、受講者を中傷するような発言はセクシャルハラスメントに当たる可能性があるため、しないこと。
6. 「マン」が付く言葉（例：ポリスマン、ファイアマンなど）を使わず、代わりにポリスオフィサー、ファイアファイターなどを使うこと（英語圏）。

#### 人種／民族

1. 講習の始めに受講者についての知識を得て、名前を正しく発音すること。
2. 身体的な外見に基づいて受講者の人種や民族を推測・仮定しないこと。
3. 民族的なグループやコミュニティの中にも多様な構成があることを認識すること。
4. 正当な理由（例：身元確認の目的など）がない限り、グループや個人を人種で分類した表現をしないこと。

#### 性的指向

1. 受講者の質問に答える場合以外は、いかなる HSI/MFA 講習の中でも、性的指向について話し合う理由はない。
2. 性的指向に関するインストラクターの個人的感情は講習の場にふさわしくない。

#### 年齢

1. 年齢が上、あるいは下の受講者が、除外されている、あるいは放置されているなど、孤独を感じさせてはならない。
2. 年齢の違いによる威圧感やストレス（居心地の悪さ）を感じる必要はない。

3. 高齢の受講者がいる場合は、その人が持つ人生経験や異なる見方をクラスで活用すること。

### 宗教と政治的信念

1. 受講者は多様な宗教と政治的な見解を持っているものとして対応すること。
2. 受講者はそれぞれが特定の信念や宗教的な習慣的行為を有していると想定し、彼らが当該宗教全体の代弁をすることはできないものと考えること。
3. 宗教、あるいは宗教的、政治的な考えを絶対に批判しないこと。
4. 宗教的、政治的な意見には敬意を表すること。
5. トピックに関係のない宗教的、政治的意見がからむ話題は避けること。
6. 宗教的、政治的な信念に関するインストラクター自身の個人的な感情が入り込む場合は講習内にはない。

### 障害者

1. 他の受講者と同じレベルでスキルを実行できない場合は、スキル・パフォーマンスに妥当な修正を加えること。(例：手話通訳の手配やスキル・セッションの修正など)

### 学習環境

理想的な学習環境は、十分なスペース、座席、資料、設備があり、快適で、効率的で、気が散らないことである。しかし、インストラクターはしばしば、騒がしい作業場、日当たりの悪い食堂、狭い会議室など、その場しのぎの教室を作らなければならないことがあります。そのような課題を予測し、可能な限り学習環境を整えるべきです。ほとんどの HSI/MFA トレーニング・プログラムでは、スキルの実習と評価が必要になります。インストラクターは、このような活動のために十分かつ適切なスペースを確保する必要があります。個人の安全とプロフェッショナリズムという観点から、HSI/MFA は、個人の住宅内で講習を行うこと、特にマンツーマンの個人講習に対して、強く反対するものです。可能な限り、トレーニングはプロフェッショナルなビジネス環境、オフィス、またはミーティング・スペースで行うべきです。

### 受講者の病気

トレーニングセンターは、受講者が体調不良を感じている場合、または以下の症状のいずれかを示している場合は、クラスに出席しないよう助言してください。すなわち、発熱または悪寒、咳、息切れまたは呼吸困難、疲労、筋肉または体の痛み、頭痛、味覚または嗅覚の喪失、喉の痛み、鼻づまりまたは鼻水、吐き気、嘔吐または下痢。

受講者は、認定に必要なすべての要件を満たさなければなりません。TC は、参加できなかった部分を補うための合理的な支援を提供する必要があります (例：別の日にクラスやスキル・セッションを手配するなど)。教室内では、インストラクターは、衰弱している、重病にかかっている、または激痛があるように見える受講者に対して、救急隊を呼ぶ必要があります。救急隊員が引き継ぐまで、生徒を落ち着かせ、安心させ、ケアをしてください。

### 感染のリスクを最小限にする

CPR トレーニング用マネキンの使用により、細菌性、真菌性、ウイルス性の疾病が感染したという記録はありません。受講者とインストラクターの健康と安全を継続的に守り、感染症の蔓延を防ぐために、HSI/MFA のインストラクターと受講者は次の事柄を遵守すべきです：

1. 石鹸と水で、少なくとも 20 秒間、頻繁に手を洗う。手を清潔に保つことは、インストラクターや受講者が病気になったり、他の人に菌を移したりしないためにできる最も重要なステップのひとつです。
2. 石けんと水による手洗いに加え、HSI/MFA は、講習中にアルコールベースの手指消毒剤を利用できるようにし、講習前、講習中、講習後にすべてのインストラクターと受講者が使用することを推奨しています。
3. COVID-19 (新型コロナ・ウイルス) の原因となるウイルスを含む感染症にさらされるリスクを減らすために、「いつ、どのように施設を清掃・消毒するか」についての準備を怠らないでください。
4. トレーニング中に使用するマネキンの製造元が提供する、汚染除去と衛生習慣に関するすべての推奨事項に従ってください。

※日本では医療用酸素を使用した講習はありませんが、講習中にアルコールベースの手指消毒剤を使用しないこと。酸素濃縮環境下でのアルコール系手指消毒剤の発火 (例えば、静電気による火花) は、重大な火災や負傷につながる可能性があります。

5. これらに限定されるものではないが、不織布フェイスマスク、フェイスシールド、ワンウェイバルブ付きポケットマスク、HEPA フィルター、手袋を含む衛生的な個人用保護具を参加者に提供すること。
6. 病気の場合、または手、口、唇に傷やただれがある場合は、講習に参加させない。
7. 感染症伝播のリスクを最小限に抑えるため、その他のあらゆる妥当な予防措置を講じる。

## ケガの予防

受講者とインストラクターの健康と安全を守り、ケガを予防するために、HSI/MFA インストラクターは以下の事項を遵守すべきです：

1. 不自然な姿勢や極端な姿勢を避けるよう、受講者に警告する。不適切な持ち上げや移動は、腰を痛める主な原因です。すべての受講者は、練習中、適切な持ち上げ方と動かし方に注意しなければならない。
2. 受講者には、持ち上げたり移動したりする教室での活動は、以前に負った腰の怪我を悪化させる可能性があること、また、腰痛の既往歴がある場合は、傷病者役を移動させる練習をしないよう警告する。
3. 特定のサイコモータースキルは、受講者対受講者の練習には不適切であり、その目的のために設計された訓練用マネキンで行わなければならない。これらのスキルの例としては、腹部スラスト、レスキュー呼吸、胸部圧迫、除細動、または皮膚を切ったり穴を開けたり、器具を体内に挿入するようなスキルがある。
4. 物理的に安全な学習環境を確保する。教室内に、つまずきの危険がある延長コードなど、明らかな危険がないことを確認する。
5. 各 AED 訓練器が AED 実機ではないこと、ショックを与えることができない装置であることを確認してください。トレーニング中に、決して AED 実機や AED トレーニング装置を人に接続しないでください。
6. いかなる場合においても、自己注射器の実物をトレーニングに使用してはならない。
7. 事前に以下を調べ、受講者に知らせてください：
  - a. 最寄りの電話の場所
  - b. 避難口や警報装置の場所と、最善の避難ルート
  - c. ファーストエイド・キット、AED、酸素器材、消火器などの設置場所
  - d. 重症の傷病者が出た場合の、職場（その施設）の具体的な救急計画
8. 受講者に講習中の喫煙、飲食、メール通信を含む携帯電話の使用、講習の録音、録画、その他の不適切な行動を控えてもらうこと。

## 受け入れ、承認、公認、認定

HSI/MFA のトレーニングプログラムはよく知られており、何千もの州の規制機関、職業免許委員会、専門家協会、委員会、評議会の要件に適合しています（米国）。しかしながら、国際社会や地域によって事情が異なることがあるため、受講希望者は、受講する前に、HSI/MFA の認定が受け入れられ、承認され、または要件を満たしていることを、雇用主または認定、資格付与、免許付与機関に確認することが奨励されます。

## トレーニング・プログラムの質の確保

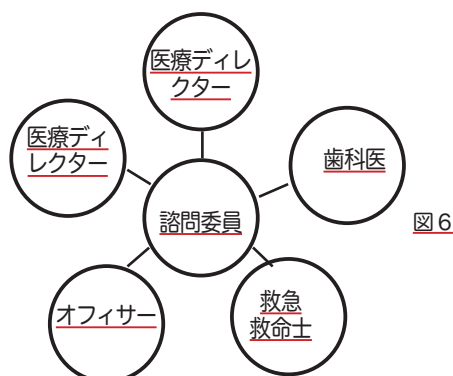


図6

HSI の諮問委員会は、認定および非認定の講習プログラムおよびクラスの医学的・教育的内容を審査する責任を担っています。諮問委員会のメンバーは、私たちの医学的トレーニングの内容が正確で最新のものであることを保証するために、明確化、指導、専門家によるレビュー、推奨を行います。メンバーには、2名の医師メディカルディレクター、歯科医師免許保持者、チーフトレーニングオフィサー、救急救命士免許保持者が含まれています（図6）。



## 「クラス評価アンケート」

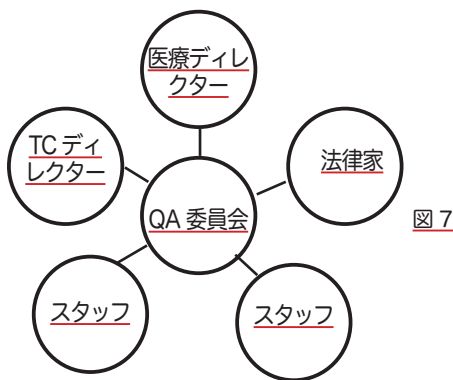
受講者にフィードバックを提供するよう奨励し、そのフィードバックを指導に活かすことは、教育の質を向上する上で不可欠です。HSI/MFA では、受講者にクラス評価アンケートの記入機会の提供を義務づけており、ウェブサイトから直接評価することも可能にしています。ウェブサイトから寄せられた評価は検討されてから、担当の TC やインストラクター、トレーナー諸氏にも知らせます。

## プロフェッショナル・メンバーシップ

HSI は次の専門の組織のメンバーです：

1. 米国規格協会(ANSI)。ANSI は米国の自主的なコンセンサス規格や適合性評価システムを推進、促進します。
2. ASTM インターナショナル。ASTM は、国際的な任意コンセンサス規格の開発と提供において、世界的に認められているリーダーです。
3. 免許・施行・規制審議会 (CLEAR) は、職業規制関係者のための国際的な情報源です

## 質の確保 (QA) 委員会



QA 委員会の目的は苦情を解決し、HSI/MFA-J、トレーニングセンター、認可インストラクターと IT のパフォーマンスを監視し、改善することであり、提供される製品とサービスが、規制当局やその他の承認者の要件を満たすようにすることです。そのメンバーは、医療メディカル・ディレクター、法律顧問、少なくとも2名の HSI 上級管理スタッフ、外部の独立したトレーニングセンター・ディレクターで構成されます (図7)。MFA JAPAN は、この委員会に相談しながら対応します。

## 登録メンバーのステータス・データベース

トレーニングセンターの承認と、インストラクターまたは IT/MFA の認可は、HSI の登録簿で管理されます。各承認トレーニングセンターには識別番号が、各承認インストラクターと IT には登録番号が割り当てられています。(日本では TC 番号を設けていません) 品質保証の一環として、HSI/MFA は、すべての承認されたトレーニングセンター、認可インストラクター、IT (現在と過去の両方) の登録状況データベースを公開 (日本では検討中) しています。検索ツールを使って、規制当局、雇用主、見込み顧客は、トレーニングセンター、公認インストラクターや IT の以下の様なステータスを確認することができます：

- **現役でアクティブ (活動中)：** TC は、コースを提供することが認められている。傘下のインストラクターまたは IT は、HSI/MFA 認定カードを発行する (IT の場合は、個人が IDC を正常に修了したことを証明する) 権限があります。
- **インアクティブ (活動休止)：** トレーニングセンターは、講習を提供することを承認されていません。インストラクターまたは IT は、HSI/MFA 認定カードを発行する権限がありません (IT の場合は、個人が IDC を満足に修了したことを証明する権限がありません)。
- **期限切れ：** インストラクターまたは IT の認定期間が終了したため、再認定を受けなければなりません。インストラクターまたは IT は、HSI/MFA 認定カードを発行する権限がありません (IT の場合は、個人が IDC を満足に修了したことを証明する権限がありません)。
- **停止処分：** 未解決の QA 問題があるため、TC はコースを提供することができません。傘下のインストラクター、トレーナーも、HSI/MFA 認定カードや認定証書の発行はできません (トレーナーの場合は、IDC を満足に修了した個人を認定できません)。
- **取り消し処分 (失効)：** QA の問題で失効となった。当該 TC または HSI/MFA とのインストラクターや IT の関係は、もはや存在しません。TC は、講習を提供することを承認されていません。インストラクターまたは IT は、HSI/MFA 認定カードを発行する権限がありません (IT の場合は、個人が IDC を満足に修了したことを証明する権限がありません)。

## 免責事項

QA に関するこれらの規準およびガイドラインは、すべてを網羅することを意図したものではなく、また、記載されている規準およびガイドラインの適用解釈や例外の可能性をすべて取り上げることが意図したものでもありません。そのため、本規準およびガイドラインの適用可能性に関する質問は、規制及び QA 部までお寄せください。QA に関するこれらの規準およびガイドラインは、HSI/MFA-J によって随時変更または廃止される可能性があります。これらの文書が改訂された場合、トレーニングセンター、認可インストラクター、IT に通知するよう努めます。しかしながら、TC、認可インストラクター、IT は、これらの規準やガイドラインを常に最新のものとし、必要な説明があれば要求する責任があります。HSI/MFA-J の規準に違反した場合、トレーニングセンターの承認、インストラクターや IT の認可の取り消しを含む懲戒処分を受けることがあります。Health & Safety Institute は、米国文部省の高等教育認定者ではないため、HSI/MFA プログラムの参加者は連邦あるいは州財政の援助を受ける資格を有していません。本資料は、法的助言を構成するものではなく、また法的助言に代わるものでもありません。

**注意：認定カード、認定証書、および継続教育単位は、特定の職業免許機関または雇用主によって承認または受理されない場合があります。**



## 参照文献（原文のまま）

- 1 <http://www.merriam-webster.com/dictionary/guideline> © 20162017 Merriam-Webster, Incorporated
- 2 Anderson ML, et al. Rates of cardiopulmonary resuscitation training in the United States. *JAMA Intern Med.* 2014 Feb 1;174(2):194-201 doi: 10.1001/jamainternmed.2013.11320. [Retrieved 01/29/2020]
- 3 Virani SS, et al. American Heart Association Council on Epidemiology and Prevention Statistics Committee and Stroke Statistics Subcommittee. Heart Disease and Stroke Statistics-2021 Update: A Report from the American Heart Association. Awareness and Treatment. *Circulation.* 2021 Feb 23;143(8):e254-e743. doi: 10.1161/CIR.0000000000000950. Epub 2021 Jan 27. PMID: 33501848. Available: <https://www.ahajournals.org/doi/10.1161/CIR.0000000000000950> [Retrieved 12/09/2021]
- 4 Abbreviations: AAP= American Academy of Pediatrics, AHA=American Heart Association, DAN = Divers Alert Network, ECSI/AAOS= Emergency Care Safety Institute/American Academy of Osteopathic Surgeons, EFR= Emergency First Response, , ITLP=International Lifeguard Training Program, NOLS/WMI-National Outdoor Leadership School/Wilderness Medical Institute, NSC= National Safety Council, NSP=National Ski Patrol, SAI= Starfish Aquatics Institute, SOLO = Stonehearth Open Learning Opportunities (Wilderness Courses), WMA- Wilderness Medical Associates, YMCA=Young Men's Christian Association
- 5 National Center for Biotechnology Information, U.S. National Library of Medicine, PubMed literature search Available: <https://tinyurl.com/yajjv44g> [Accessed 12/14/2021]
- 6 Evaluation of Evidence-Based Practices in Online Learning: A Meta-Analysis and Review of Online Learning Studies. U.S. Department of Education, Office of Planning, Evaluation, and Policy Development, Policy and Program Studies Service Revised September 2010 Available: <https://www2.ed.gov/rschstat/eval/tech/evidence-based-practices/finalreport.pdf> [Accessed 12/14/2021]
- 7 Wyckoff MH, et al. 2022 International Consensus on Cardiopulmonary Resuscitation and Emergency Cardiovascular Care Science With Treatment Recommendations: Summary From the Basic Life Support; Advanced Life Support; Pediatric Life Support; Neonatal Life Support; Education, Implementation, and Teams; and First Aid Task Forces. *Circulation.* 2022 Dec 20;146(25):e483-e557.
- 8 Berg RA, et al. Part 5: Adult basic life support: 2010 American Heart Association Guidelines for Cardiopulmonary Resuscitation and Emergency Cardiovascular Care. *Circulation.* 2010;122(suppl 3):S685–S705.
- 9 Berg MD, et al. Part 13: pediatric basic life support: 2010 American Heart Association Guidelines for Cardiopulmonary Resuscitation and Emergency Cardiovascular Care. *Circulation.* 2010;122(suppl 3):S862–S875.
- 10 See also; TUPAY v. MAXIM HEALTHCARE SVCS INC., Dist. Court, D. Connecticut 2015 [Accessed 12/14/2021]
- 11 CAPCE represents only that its accredited programs have met CAPCE standards for accreditation. CAPCE accreditation does not represent that the content conforms to any national, state or local standard or best practice of any nature.
- 12 Eford R. Telemedicine activities at memorial University of Newfoundland: a historical review, 1975-1997. *Telemed J.* 1998 Fall; 4(3):207-24.
- 13 What is telehealth? How is telehealth different from telemedicine? Available at: <https://www.healthit.gov/faq/what-telehealth-how-telehealth-different-telemedicine> Accessed 3/6/2020
- 14 Virtual Instructor-Led Training (VILT). Available: <https://trainingindustry.com/wiki/remote-learning/virtual-instructor-led-training-vilt/> [Accessed 12/14/2021]
- 15 Commission on Accreditation for Pre-Hospital Continuing Education, 2020 Accreditation Manual 2.8 Virtual Instructor Led Training (VILT) Activities pg. 34.
- 16 COVID-19 National EMS Certification Information. Version 2020.1, National Registry of Emergency Medical Technicians. Available: <https://tinyurl.com/yd6zxfct> [Accessed 12/14/2021]
- 17 Weeks DL, Molsberry DM. Pediatric advanced life support re-training by videoconferencing compared to face-to-face instruction: a planned non-inferiority trial. *Resuscitation.* 2008 Oct; 79(1):109-17.
- 18 Haney M, et al. A comparison of tele-education versus conventional lectures in wound care knowledge and skill acquisition. *J Telemed Telecare.* 2012 Mar;18(2):79-81
- 19 Weeks DL, Molsberry DM. Feasibility and reliability of remote assessment of PALS psychomotor skills via interactive videoconferencing. *Resuscitation.* 2009 Mar; 80(3):354-8.
- 20 Okrainec et al. Remote FLS testing in the real world: ready for "prime time". *Surg Endosc.* 2015 Nov 18.
- 21 Mikrogianakis A. et al. Telesimulation: an innovative and effective tool for teaching novel intraosseous insertion techniques in developing countries. *Acad Emerg Med.* 2011 Apr;18(4):420-7.
- 22 Jain A, Agarwal R, Chawla D, Paul V, Deorari A. Tele-education vs. classroom training of neonatal resuscitation: a randomized trial. *J Perinatol.* 2010 Apr 1.
- 23 Reynolds PA, Eaton KA, Mason R. Seeing is believing: dental education benefits from developments in videoconferencing. *Br Dent J.* 2008 Jan 26; 204(2):87-92.
- 24 Gonzales-Zamora JA, Alave J, De Lima-Corvino DF, Fernandez A. Videoconferences of Infectious Diseases: An Educational Tool That Transcends Borders. A Useful Tool Also for the Current COVID-19 Pandemic. *Infesz Med.* 2020 Ahead of print Jun 1;28(2):135-138. Available: [https://www.infezmed.it/media/journal/Vol\\_28\\_2\\_2020\\_2.pdf](https://www.infezmed.it/media/journal/Vol_28_2_2020_2.pdf) [Accessed 4/21/20]

- 25 Afshin Gharib and William Phillips. Test Anxiety and Performance on Open Book and Cheat Sheet Exams in Introductory Psychology DOI: 10.7763/IPEDR. 2012. V53 Available: <http://www.ipedr.com/vol53/001-BCPS2012-C00006.pdf> [Accessed 12/12/21]
- 26 Cheng A, Magid DJ, Auerbach M, Bhanji F, Bigham BL, Blewer AL, Dainty KN, Diederich E, Lin Y, Leary M, Mahgoub M, Mancini ME, Navarro K, Donoghue A. Part 6: Resuscitation Education Science: 2020 American Heart Association Guidelines for Cardiopulmonary Resuscitation and Emergency Cardiovascular Care. *Circulation*. 2020 Oct 20;142(16\_suppl\_2):S551-S579. doi: 10.1161/CIR.0000000000000903. Epub 2020 Oct 21. PMID: 33081527. [Accessed 08/29/22]
- 27 Laird, Holton, Naquin. Approaches to Training and Development: Third Edition Revised and Updated (New Perspectives in Organizational Learning, Performance, and Change) 2003
- 28 Cheng A, et al. Resuscitation Education Science: Educational Strategies to Improve Outcomes From Cardiac Arrest A Scientific Statement From the American Heart Association, *Circulation*. 2018;138:00
- 29 Mejicano GC, Maki DG. Infections acquired during cardiopulmonary resuscitation: estimating the risk and defining strategies for prevention. *Ann Intern Med*. 1998 Nov 15; 129 (10):813-28. [Accessed 12/12/21] 30 Sun D, Bennett RB, Archibald DW. Risk of acquiring AIDS from salivary exchange through cardiopulmonary resuscitation courses and mouth-to-mouth resuscitation. *Semin Dermatol*. 1995;14(3):205–211. Available: <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/7488536/>. [Accessed 12/14/2021]